

Build your own **Ford Mustang** 1967 SHELBY GT-500™

第6回配本

6



METAL BODYWORK
SCALE **1:8**





第6回配本 組立内容

STAGE 41	スタビライザーを作る	173
STAGE 42	上部アームを作る	177
STAGE 43	排気管とサイレンサーを作る	181
STAGE 44	助手席フロアとギアレバーを作る	185
STAGE 45	フットスペース部分を作る	189
STAGE 46	ダッシュボードとヒューズカバーを作る	193
STAGE 47	ダッシュボードを作る	197
STAGE 48	計器、ラジオ、グローブボックスを作る	201
STAGE 49	後部座席フロアと前部座席のシートベルトを作る	205



スタビライザーを作る

このステージのパーツ

41-1 スタビライザーバー

41-2 サスペンションアームのピン

41-3 ビス2.3×3 mm(MP03)×2

41-4 ビス2.3×3 mm(MD02)×2

※MP03とはネジ山のピッチが違います。

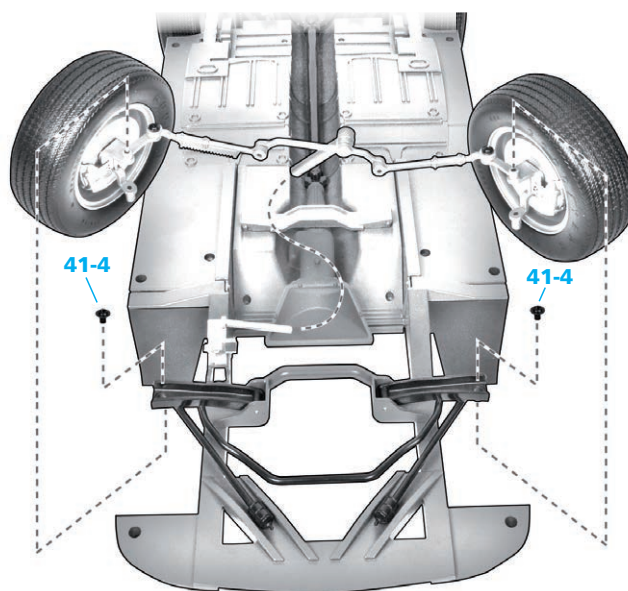
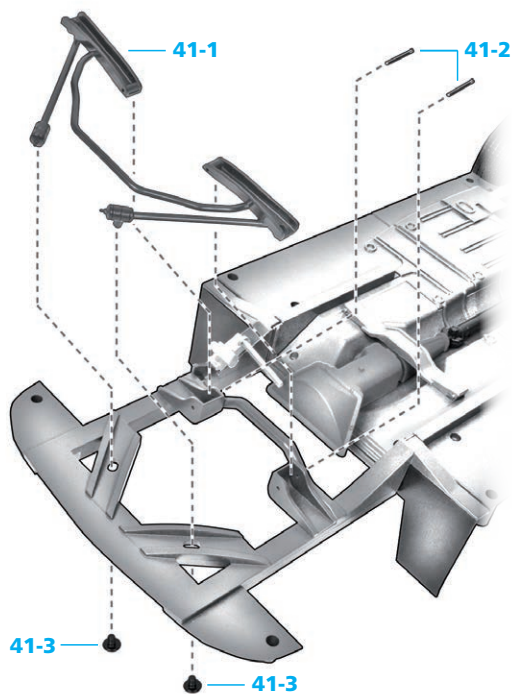
このステージのパーツ



パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

組み立てレイアウト図



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

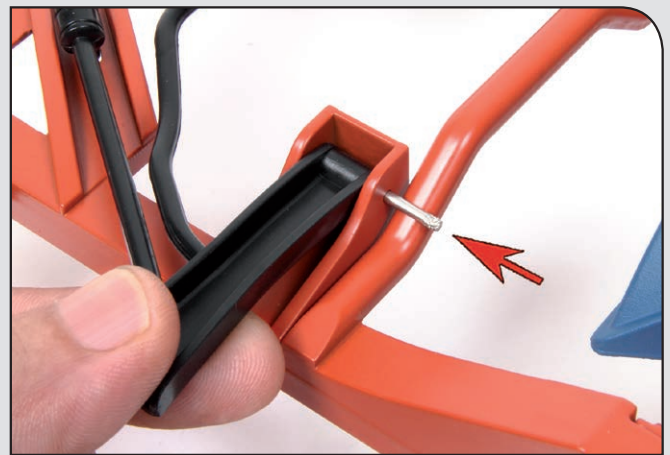
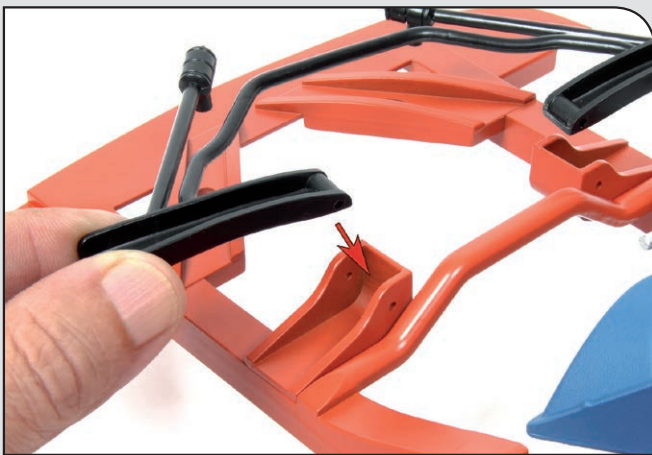


Step 41-A

写真のように、組み立てたシャーシを裏返して正面に置きます。スタビライザーバー(41-1)をシャーシの前面に持ってきます。

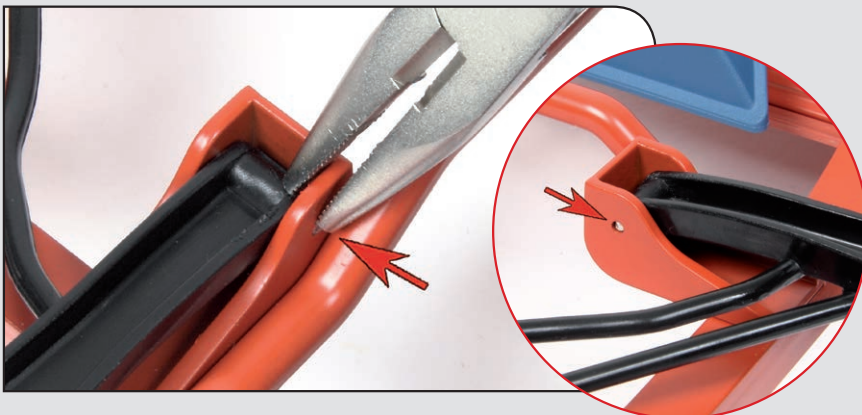
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。



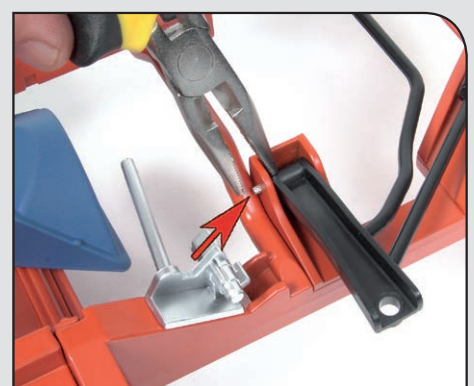
Step 41-B

前の号で取り付けしたサスペンションアームマウントにスタビライザーバーの写真の部分(サスペンションアーム)を押し込みます。



Step 41-C

各サスペンションアームの自由端の穴とマウントの穴の位置を合わせ、サスペンションアームのピン(41-2)の先端にローレット(凸凹状加工)が無い側を先に通します。

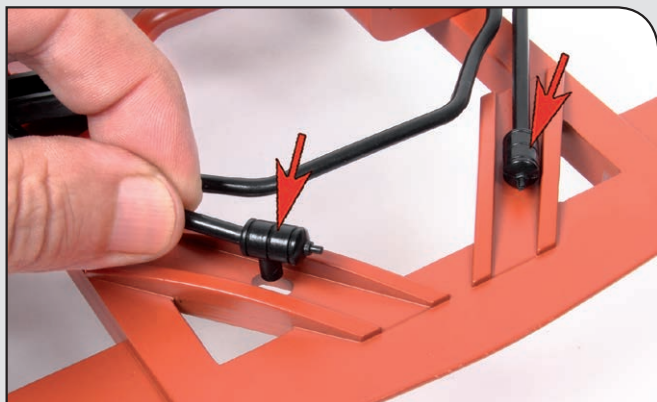


Step 41-D

プライヤーを使ってピンを所定の位置に完全に押し込みます。
※サスペンションアームを傷つけないように、マスキングテープなどで保護した上で作業するとよいでしょう。

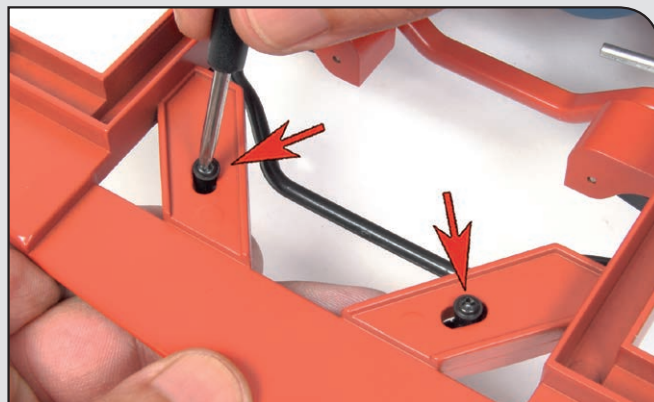
Step 41-E

もう一方のピンをもう一方のサスペンションアームとそのマウントの穴に通します。



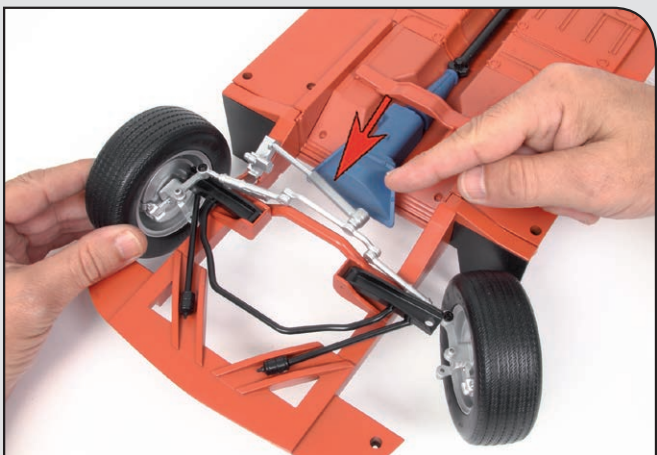
Step 41-F

写真のように、スタビライザーバーの前面にある突起部をシャーシの穴に挿入します。



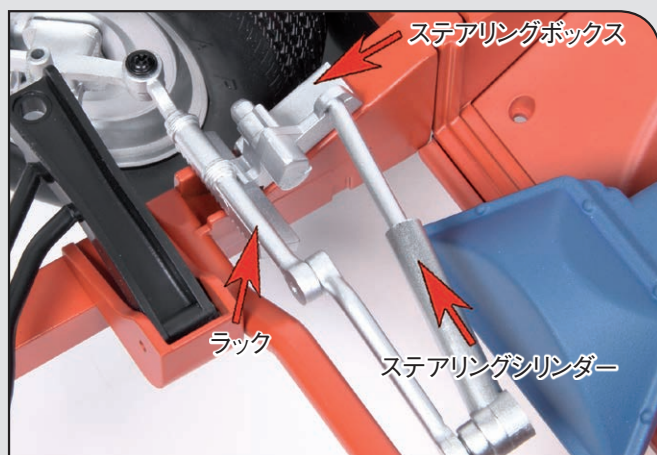
Step 41-G

シャーシを裏返して、2本のMP03ビス(41-3)で突起部を固定します。



Step 41-H

シャーシを裏返して、前輪をシャーシの両側に配置し、トラックロッドをサスペンションアームの後部に合わせます。



Step 41-I

写真のように、シャーシの所定の位置にラックを取り付けると同時に、ステアリングシリンダーをステアリングボックスに合わせます。

Step 41-J

写真のように、サスペンションアームの端にある穴を左の車輪の突起部(矢印)に合わせます。





Step 41-K

サスペンションアームの穴をMD02のビス(41-4)で締め、ホイールに固定します。ホイールが回転できるようにするため、ビスを締めすぎないでください。



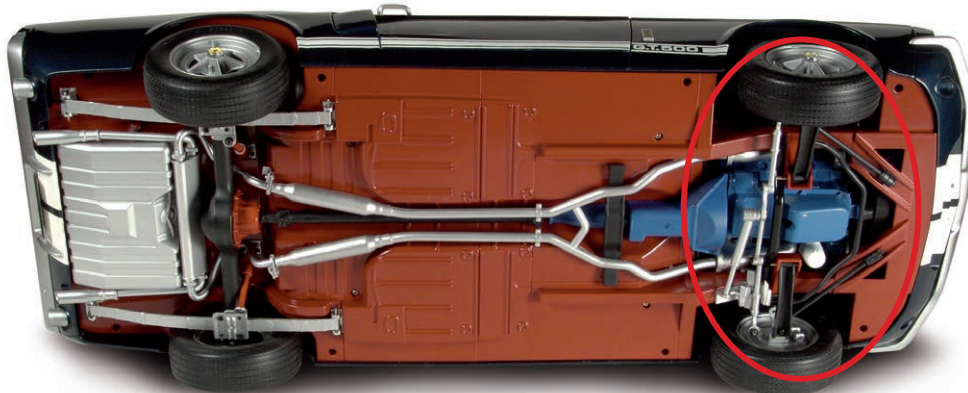
Step 41-L

もう一方のサスペンションアームを右のホイールに合わせるために、ステップJ~Kを同じように繰り返します。

Step 41-M

取り付け後は写真のようになります。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



上部アームを作る

このステージのパーツ

42-1 Aフレーム上部アーム

42-2 上部アームマウント

42-3 上部アームピン

42-4 ビス2.3×4 mm(MD06)× 4

42-5 ビス2.3×3 mm(MD02)× 2

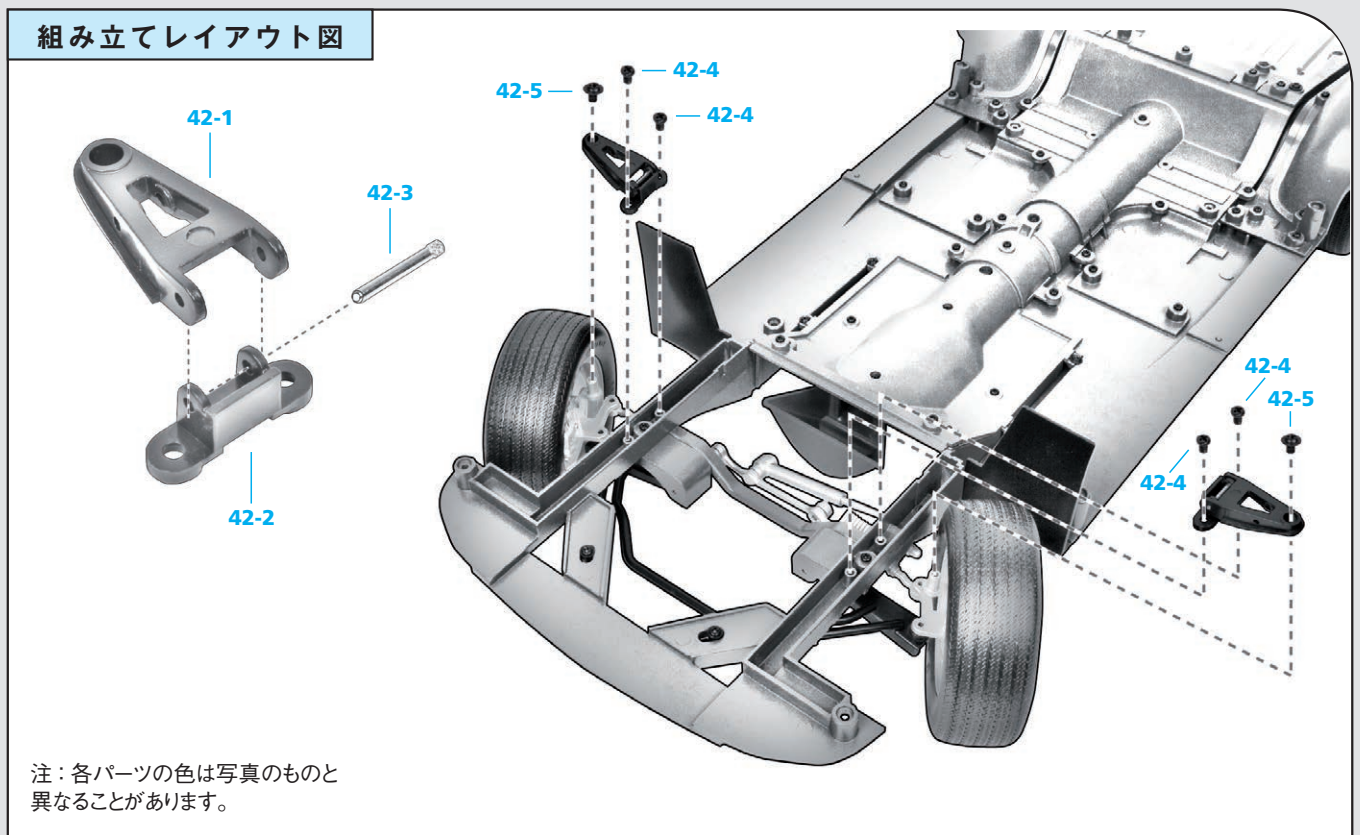
このステージのパーツ



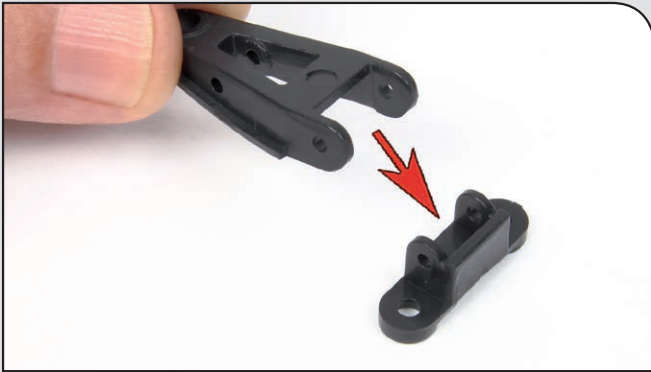
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

組み立てレイアウト図

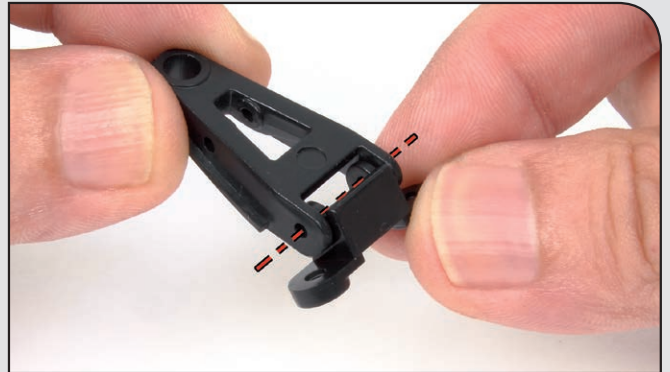


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 42-A

片方のAフレーム上部アーム(42-1)の広い端の方にある突起部を、上部アームマウント(42-2)の中央突起部の両側に配置します。



Step 42-B

2つパーツ分の穴が揃っていることを確認してください。



Step 42-C

上部アームピン(42-3)の一方を両方のパーツの穴に通します。



Step 42-D

写真のように、ペンチでピンを押し込みます。



Step 42-E

ステップA～Dを繰り返して、もう片方の上部アームとマウントを組み立てます。

Step 42-F

シャーシを裏返して正面に置きます。





Step 42-G

写真に示すように、組み立てた上部アームの1つをシャーシの内側にある突起部の上に合わせます。



Step 42-H

上部アームマウントの穴を2本のMD06ビス(42-4)で締めて、シャーシに固定します。

Step 42-I

上部アームの端をホイールの内側にある突起部に合わせます。

スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。



Step 42-J

アームを所定の位置に固定するために、MD02のビス(42-5)で穴を締めます。ホイールが回転できるように、ビスを少し緩めにしておきます。



Step 42-K

もう一方の上部アームをシャーシの反対側の所定の位置に合わせ、2本のMD06ビス(42-4)で固定します。



Step 42-L

上部アームの端をホイール内側の突起部に合わせ、MD02のビス(42-5)で固定します。この場合もやはり、ビスを少し緩めにして、ホイールが回転できるようにします。

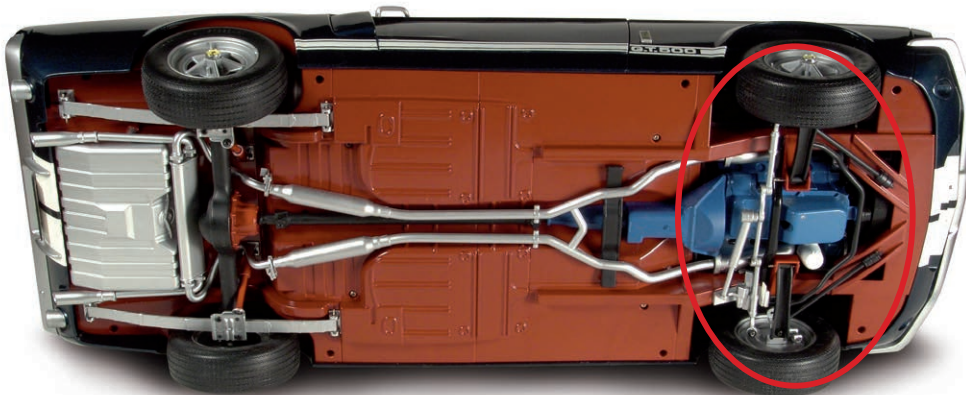


Step 42-M

写真のように、取り付け後には前輪を同時に動かすことができるはずですが。



STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



排気管とサイレンサーを作る

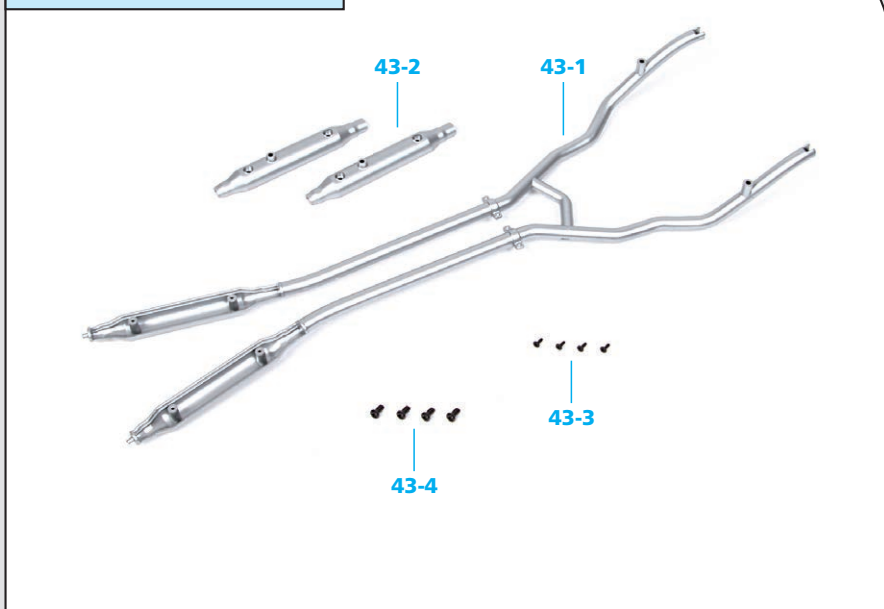
このステージのパーツ

- 43-1 排気管
- 43-2 サイレンサー上部
- 43-3 ビス1.2×3 mm(MP02)×4
- 43-4 ビス2.3×4 mm(MP01)×4

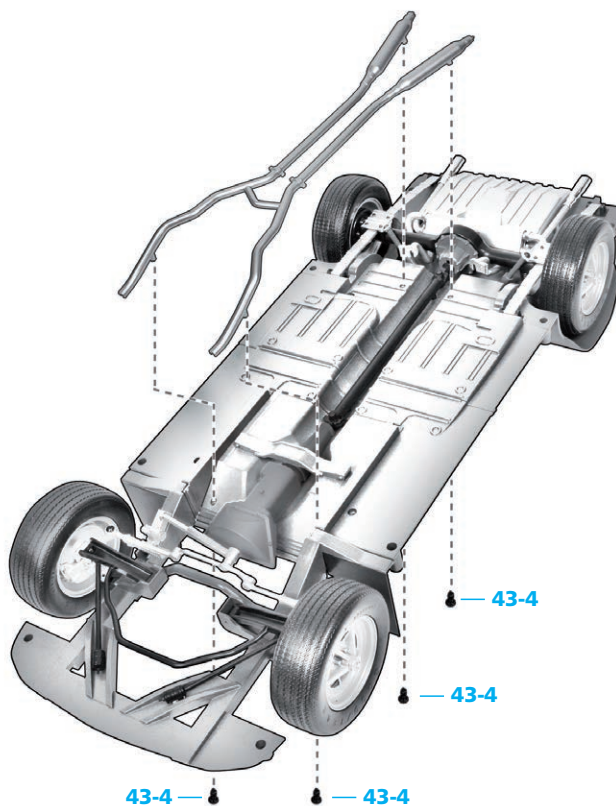
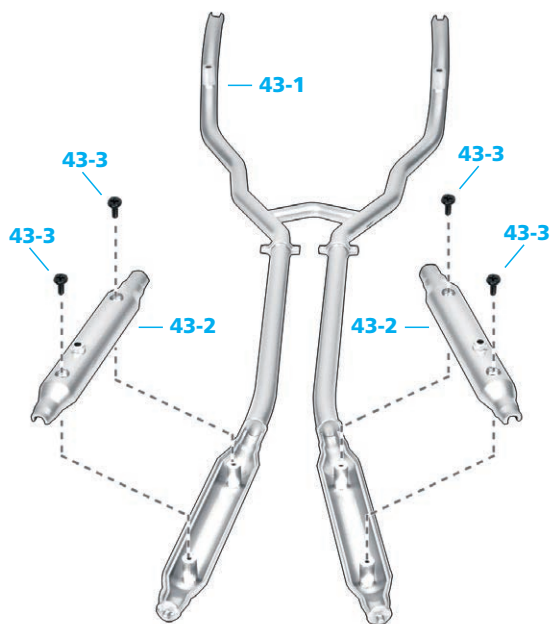
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

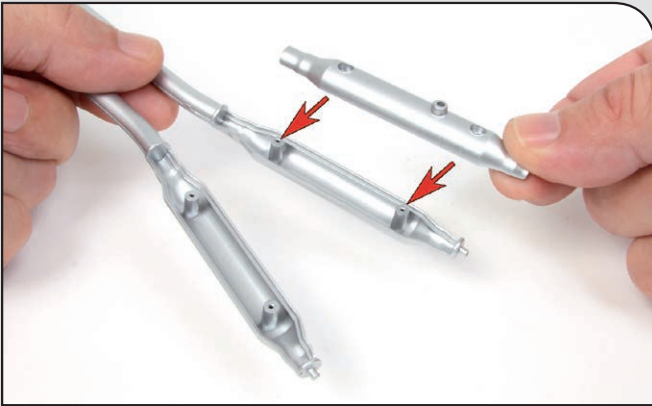
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

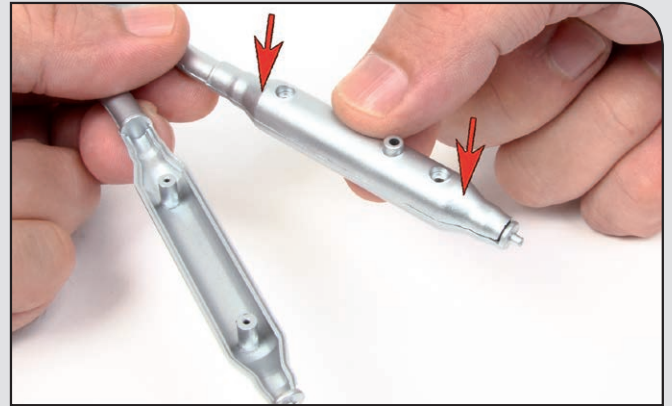


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



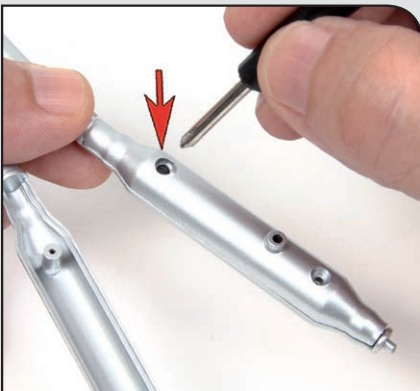
Step 43-A

図のように、片手で排気管(43-1)を、もう片方の手でサイレンサー上部(43-2)を持ちます。サイレンサー上部の穴を、排気管のサイレンサー下部にある突起部に合わせます。



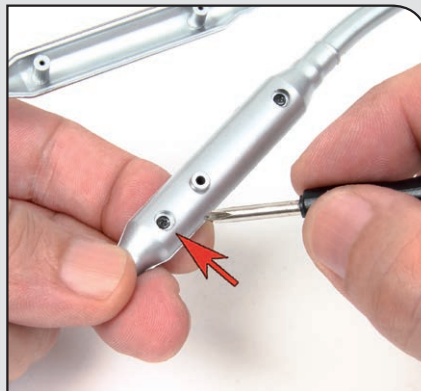
Step 43-B

サイレンサー上部を所定の位置に合わせます。



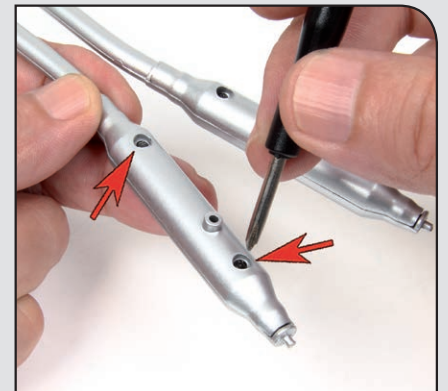
Step 43-C

サイレンサー上部の最初の穴(矢印)をMP02のビス(43-3)で仮締めします。



Step 43-D

サイレンサーのもう一方の端にある矢印で示された穴を、2本目のMP02ビスで仮締めします。その後で両方のビスをしっかりと締めします。

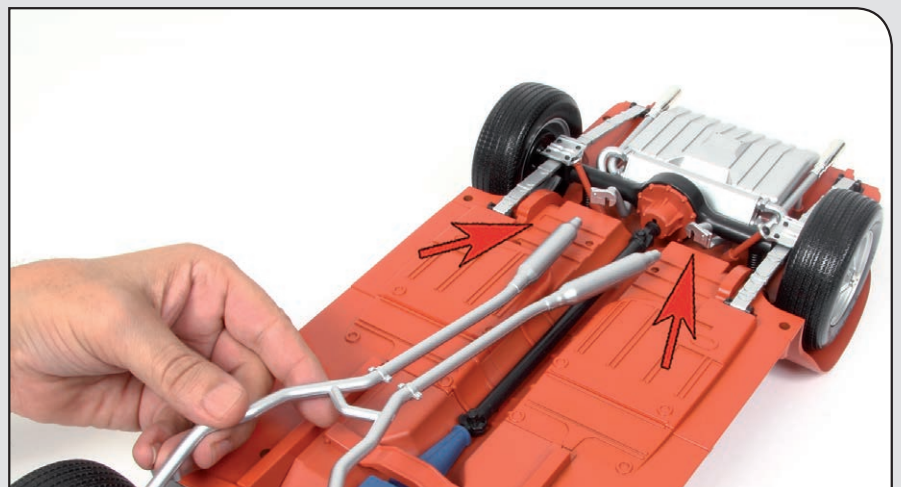


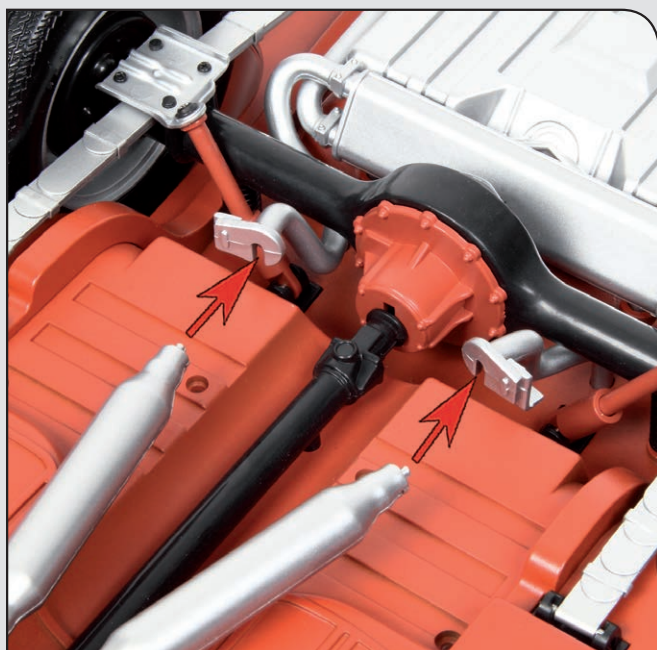
Step 43-E

2個目のサイレンサー上部(43-2)を同じようにMP02のビスでもう片方のサイレンサー下部に取り付けます。

Step 43-F

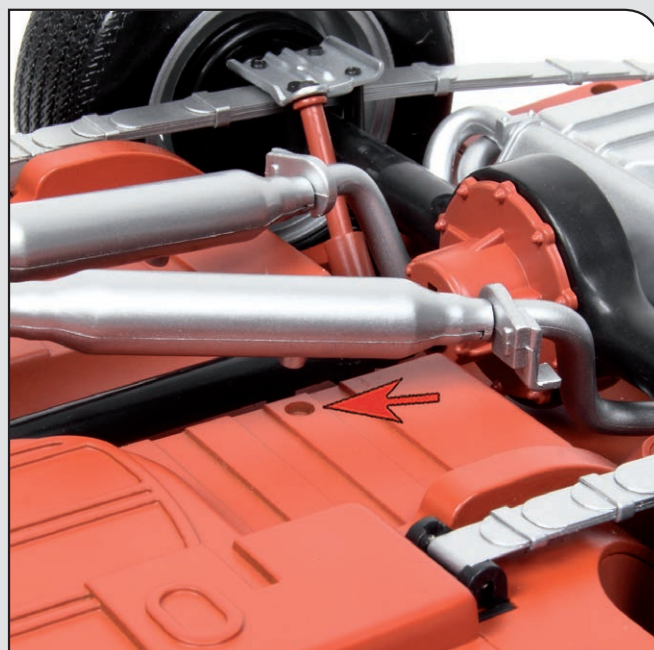
シャーシを作業台の上に裏返して置き、写真のようにサイレンサーを矢印の方に向けて排気管を配置します。





Step 43-G

矢印で示すように、サイレンサーの端にある突起部を、ステージ6で組み立てたインレットパイプの端に挿入します。



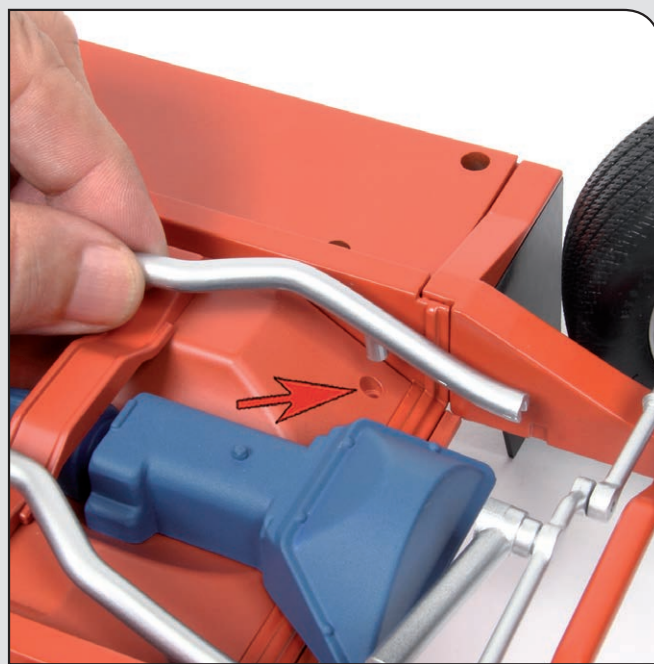
Step 43-H

サイレンサー上部の突起部をシャーシの対応する穴(矢印)にはめ込みます。



Step 43-I

排気管を所定の位置に保ちながらシャーシを裏返します。矢印で示されている2つの穴のそれぞれを MP01のビス(43-4)で締めて排気管を固定します。



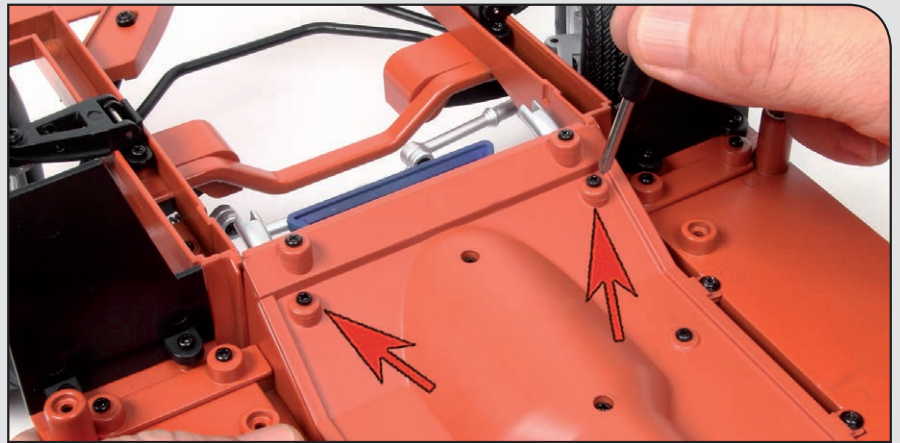
Step 43-J

シャーシを裏返して、排気管の前端近くにある突起部をシャーシの対応する穴(矢印)に差し込みます。



Step 43-K

シャーシを裏返して、矢印で示された2つの穴のそれぞれをMP01のビスを締めて、排気管を所定の位置に固定します。



Step 43-L

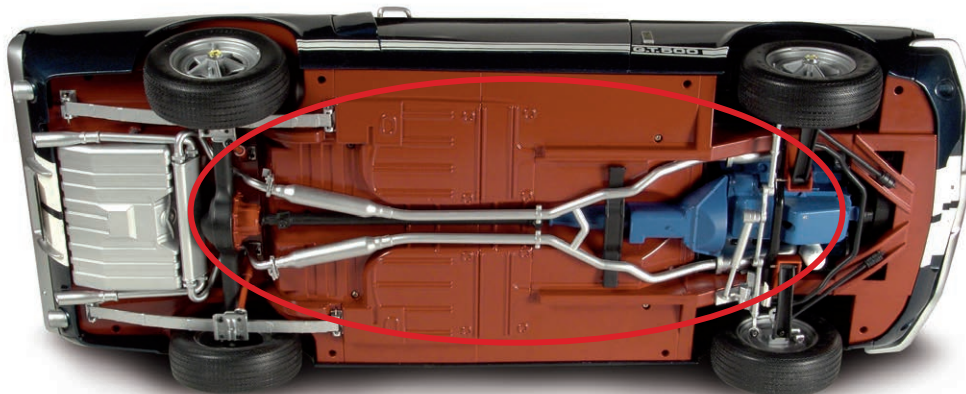
組み立て後は写真のようになります。



スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



助手席フロアとギアレバーを作る

このステージのパーツ

44-1 フロントフロア

44-2 ギアシフト

44-3 ビス2.3×4 mm(MP01)×1

パーツ取扱いの注意

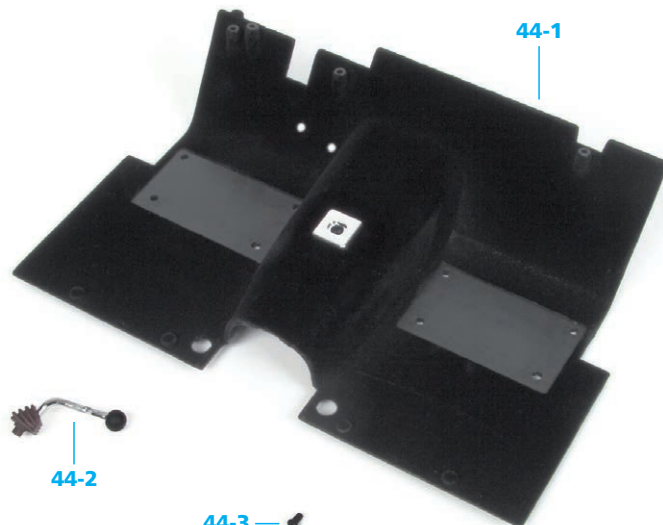
それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

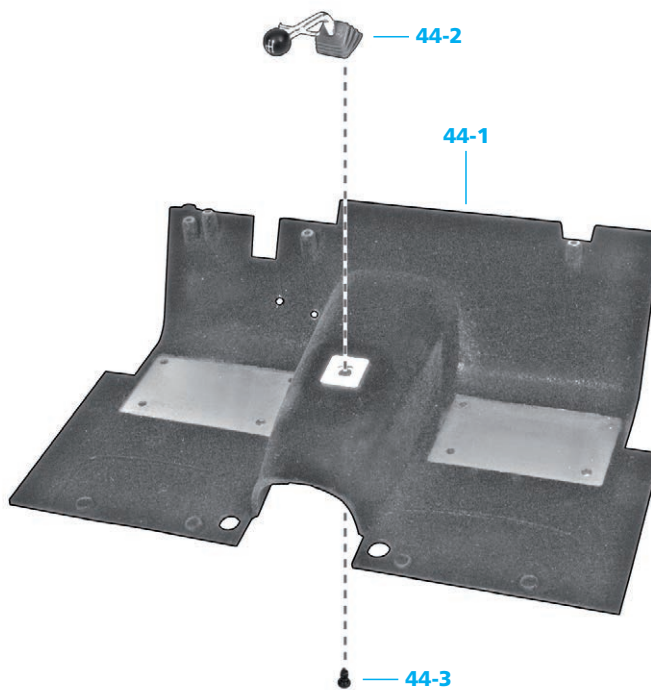
注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

このステージのパーツ



※写真では左右シート面がグレーになっていますが、実物のパーツでは全体に黒の植毛がされています。

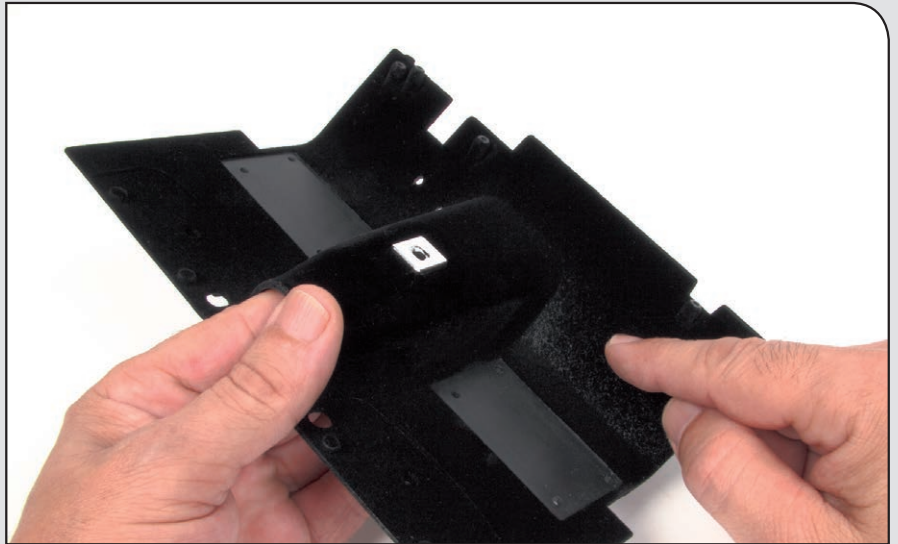
組み立てレイアウト図





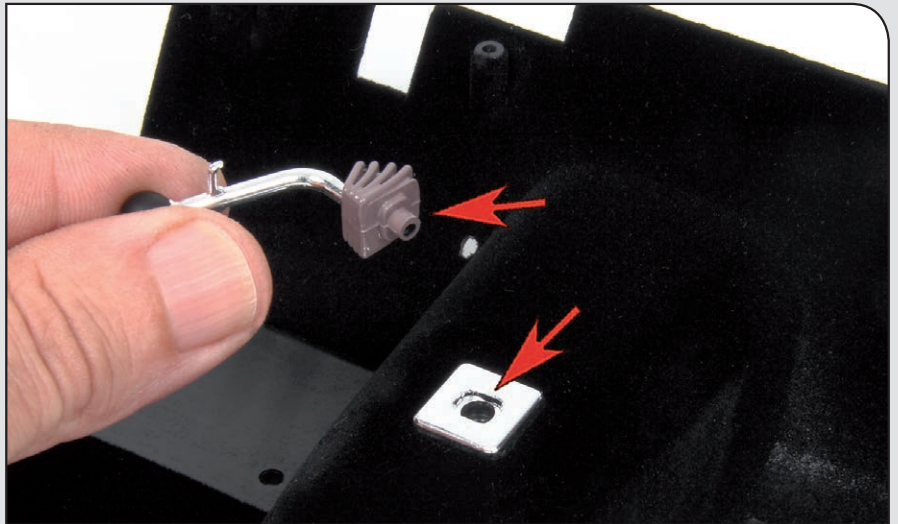
Step 44-A

フロントフロア (44-1) の表面は、実際のムスタングのキャビンのカーペットを模したものです。



Step 44-B

ギアシフト (44-2) を取り出し、下端をフロアの矢印で示された穴に合わせます。



Step 44-C

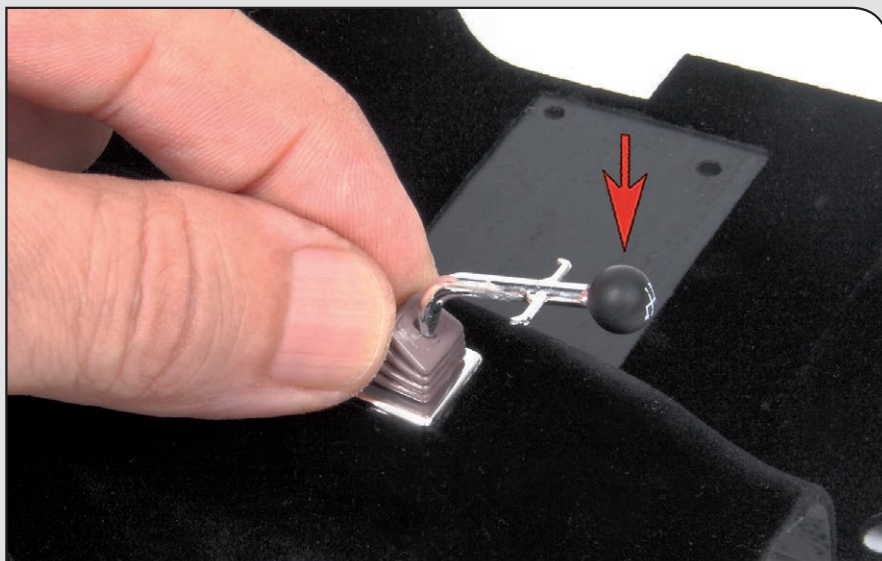
ギアシフト上部のノブが後方を向くように、ギアシフトの方向を調整します。ギアシフトの下部にある突起部を矢印の付いた穴に差し込みます。





Step 44-D

写真のように、ギアシフトの上部が後ろを向いていることを再度確認してください。



Step 44-E

ギアシフトを所定の位置に保持しながらフロントフロアを裏返します。矢印で示された穴をMP01のビス(44-3)で締めてギアシフトを固定します。



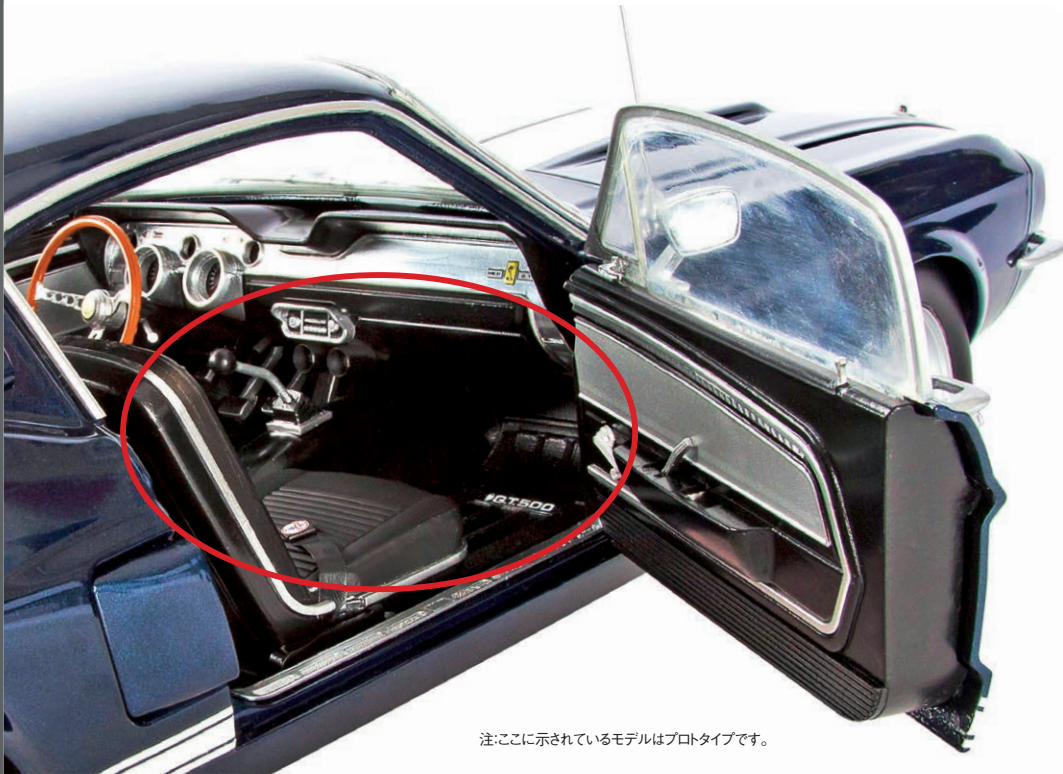
Step 44-F

写真はフロントフロアにギアシフトが組み込まれたところです。





STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。

フロア ロケーション

この写真では、フロントフロアがシャーシのどこに収まるかを示しています。





フットスペース部分を作る

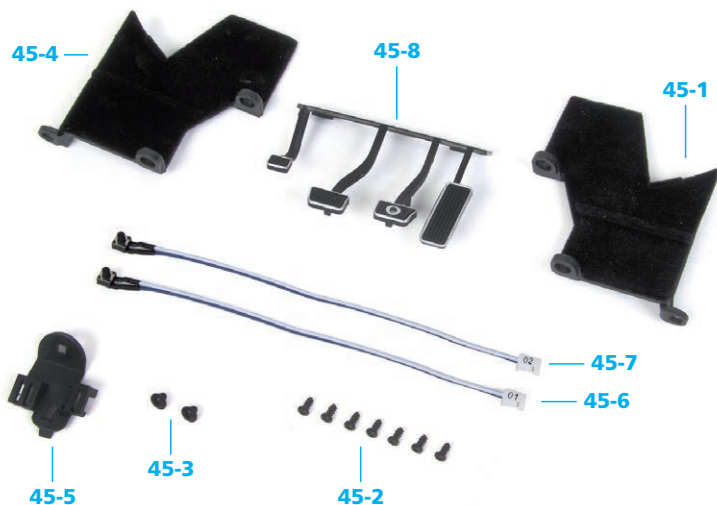
このステージのパーツ

- 45-1 右キックパネル
- 45-2 ビス2.3×4 mm(MP01)×7
- 45-3 ビス2.3×3 mm(MP03)×2
- 45-4 左キックパネル
- 45-5 スイッチハウジング
- 45-6 アクセルペダルスイッチ
- 45-7 ブレーキペダルスイッチ
- 45-8 ペダル

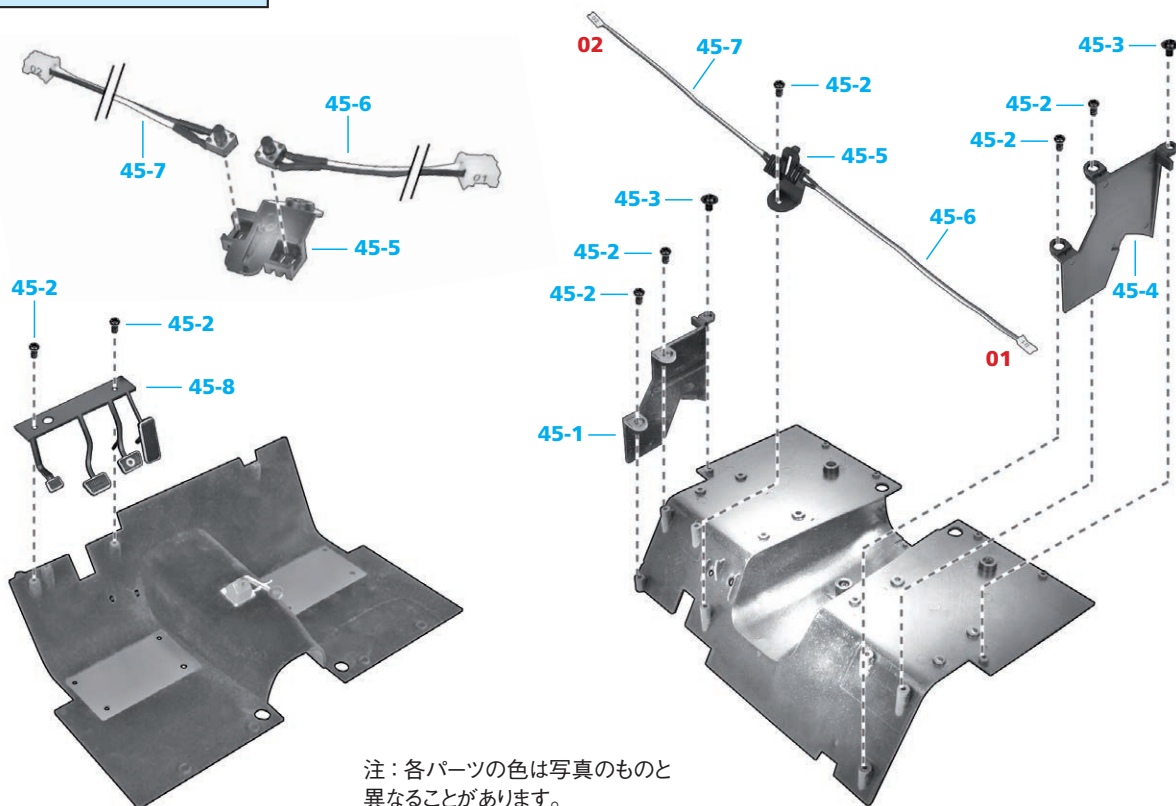
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

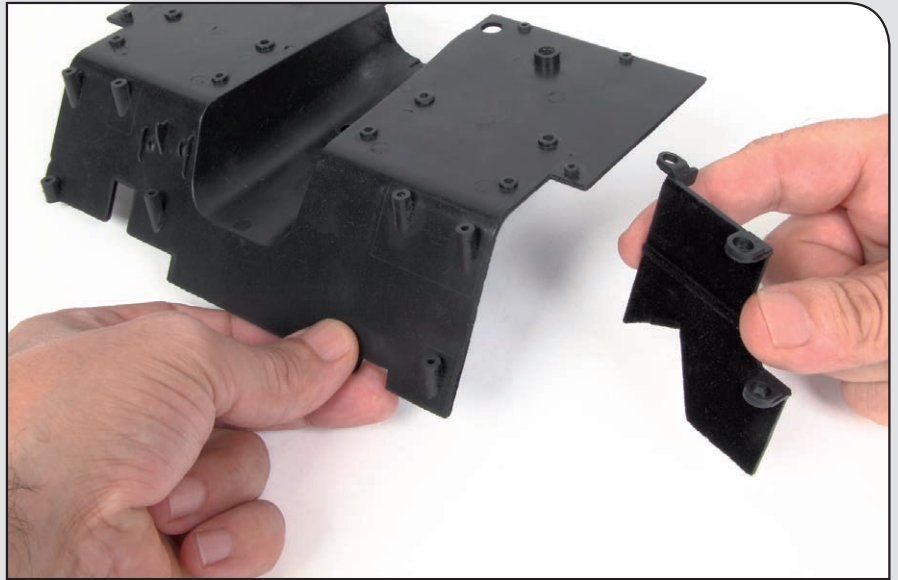


Step 45-A

前号で組み立てたフロントフロアを裏返し、写真のように右のキックパネル(45-1)を合わせます。

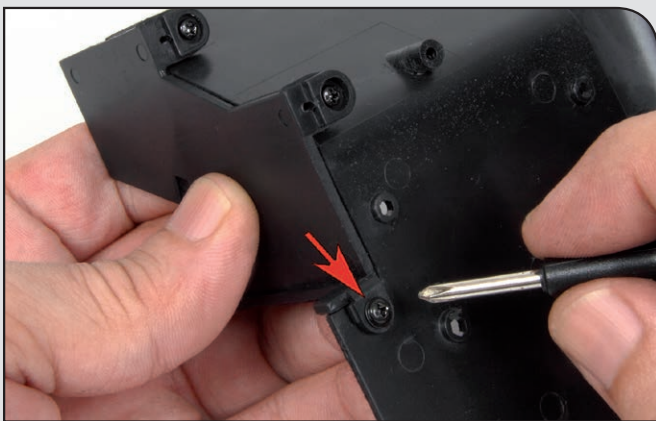
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。



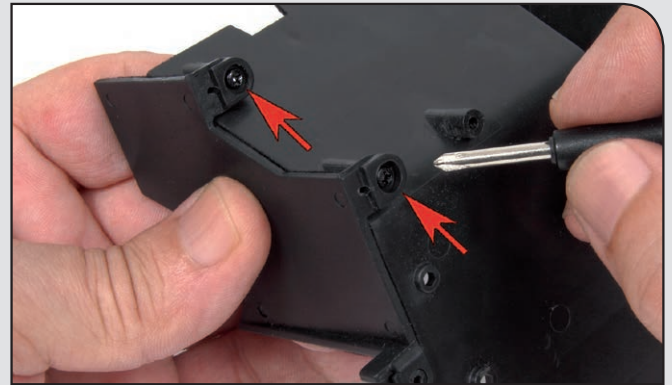
Step 45-B

フロントフロア裏面の突起部とキックパネルの穴を合わせます。※キックパネルの穴が突起部に取り付かない場合、パネルの穴に付着している黒の植毛を削り取ってください。



Step 45-D

キックパネルの残りの穴をMP03のビス(45-3)で締めます。



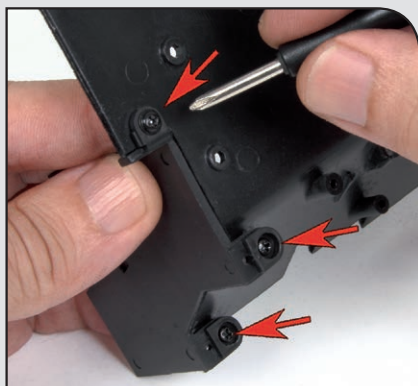
Step 45-C

矢印で示されている2つの穴それぞれをMP01のビス(45-2)で締めます。



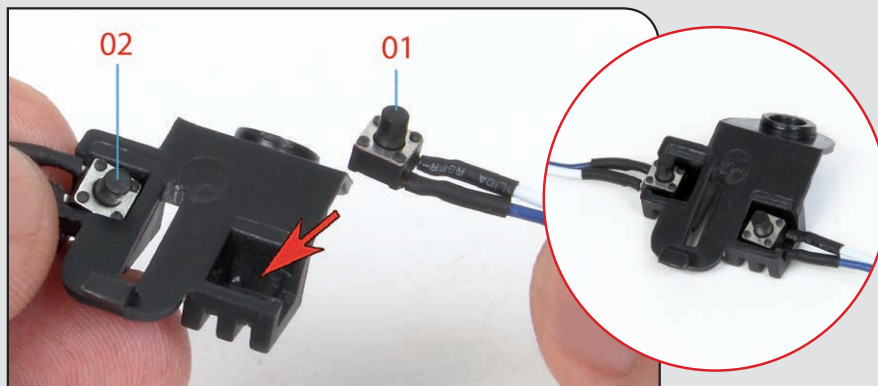
Step 45-E

左のキックパネル(45-4)をフロントフロアの反対側に取り付けます。



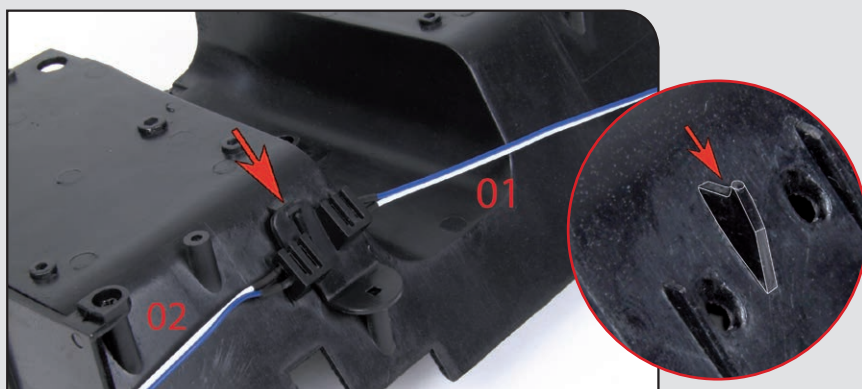
Step 45-F

ステップC、Dで行ったのと同様に、2本のMP01ビス(45-2)とMP03ビス(45-3)で指定された穴を締めパネルを固定します。



Step 45-G

写真のようにスイッチハウジング(45-5)を持ちます。2つのスイッチ(45-6)と(45-7)を、挿入写真に示されているようにボタンが上を向くようにハウジングのくぼみに入れます。ケーブルのもう一方の端にある白いコネクタに、それぞれの番号(01または02)があります。写真の番号に合わせて正しく挿入してください。



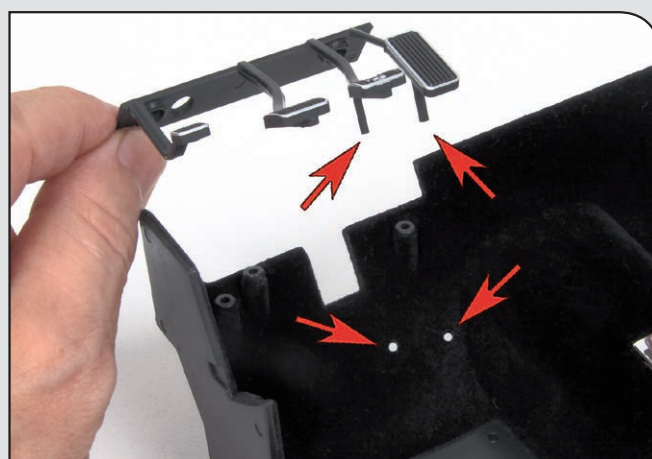
Step 45-H

フロントフロアを裏返すと、前面(エンジンに最も近い部分)に斜めのフック付きの突起部があります(挿入写真参照)。スイッチを所定の位置に保持しながら、スイッチハウジングを斜めの突起部の上に置きます。フック部分が、ハウジングのスロットにはまります。



Step 45-I

スイッチハウジングの穴をMP01のビス(45-2)で締めて、フロアの斜めの突起部に固定します。



Step 45-J

フロアを裏返して、ペダルの2つのピン(45-8)を矢印で指示された穴に合わせます。これらのピンはスイッチを操作する部分ですので、ペダルを扱うときにピンを損傷しないように注意してください。



Step 45-K

2本のピンを穴に挿入しながら、ペダルを所定の位置に下ろします。

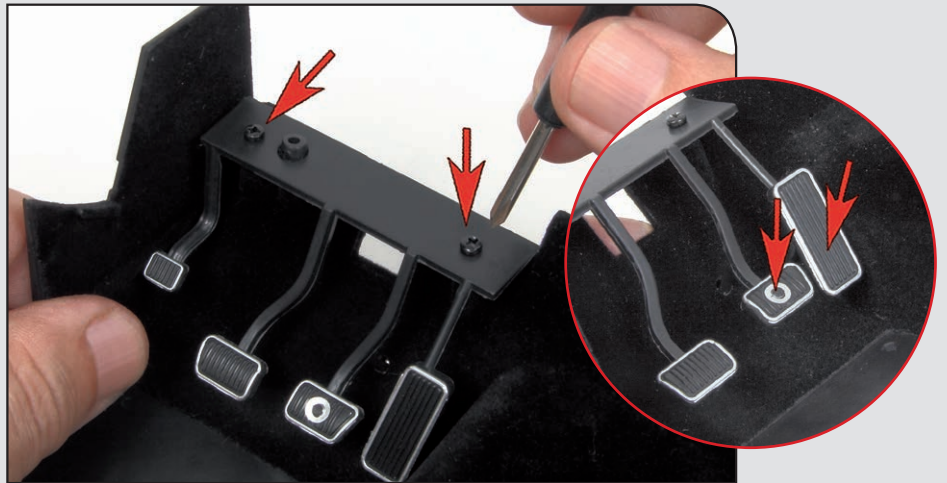


Step 45-L

MP01のビスで2つの矢印の付いた穴のそれぞれを締めます。ブレーキまたはアクセルペダルを踏み込むと(挿入写真)、スイッチがカチッと鳴り、離すともう一度カチッと音がします。(Push. Pushスイッチ)

重要

もし、離れた時にペダルが戻らずスイッチの音がしない場合には、(Step45-J)フロアのペダルの穴を広げてください。ペダルの穴を広げる場合には、Step45-H・Iスイッチハウジングを取り外してから、フロアのペダ穴の黒い植毛を丸ヤスリなどで取り除いて下さい。



Step 45-M

組み立てると写真のようになります。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



ダッシュボードとヒューズカバーを作る

このステージのパーツ

46-1 ダッシュボード

46-2 ヒューズカバー

46-3 ビス2.3×3 mm(MP03)×1

パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

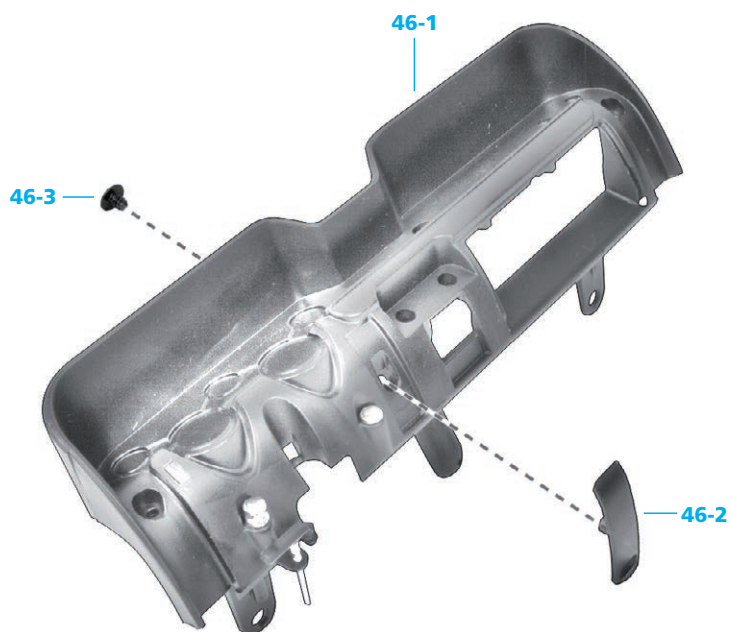
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

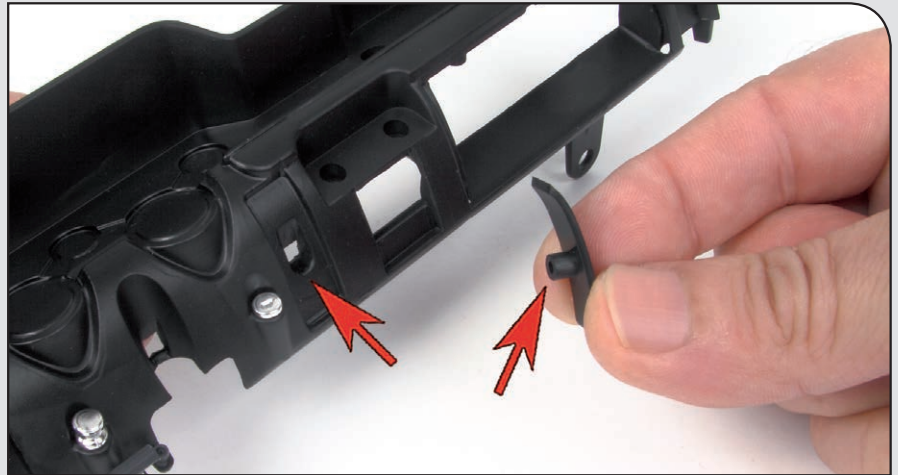


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 46-A

矢印で示されているダッシュボード(46-1)の穴とヒューズカバー(46-2)の対応する突起部を確認します。



Step 46-B

ヒューズカバーの突起部をダッシュボードの穴に差し込み、カバーのくぼみが底部にあることを確認します(挿入写真参照)。



Step 46-C

カバーを所定の位置に押し込みます。





Step 46-D

ダッシュボードを裏返し、MP03のビス(46-3)でカバーを固定します。



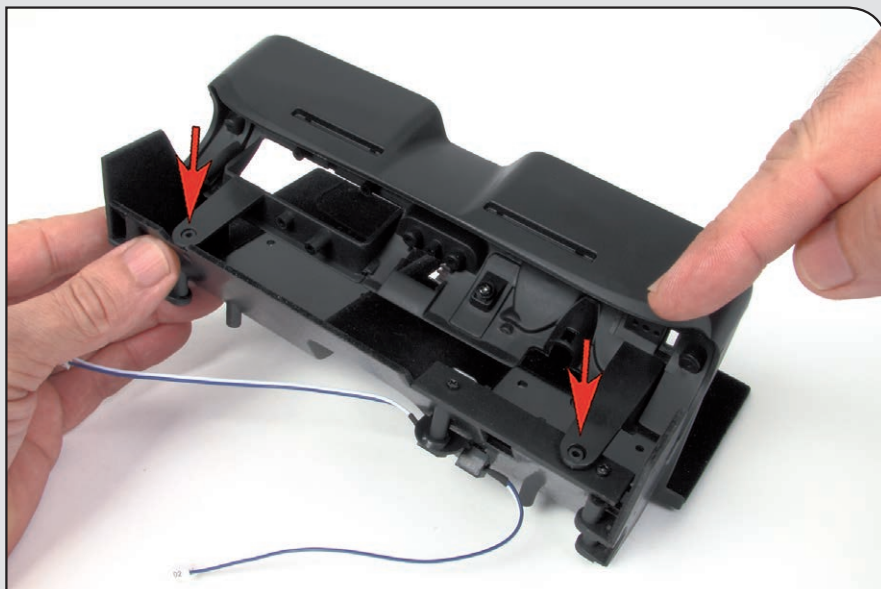
Step 46-E

後のステージでダッシュボードをフロントフロアとキックパネルに固定することになります。現段階では写真のようにぴったり嵌るかどうかの確認をしておいて下さい。



Step 46-F

ダッシュボードは背面の2つのタブ(矢印部分)が、フロントフロアの突起部の上に収まるようになっています。



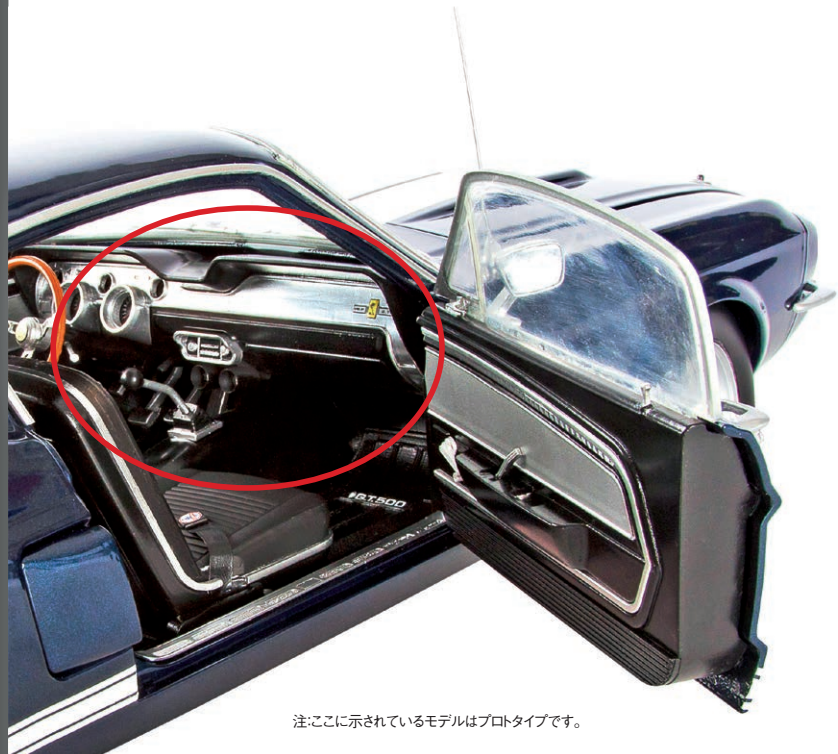


Step 46-G

写真はダッシュボードがフロントフロアに組み込まれた時の状態を示したものです。



STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



ダッシュボードを作る

このステージのパーツ

- 47-1 ステッカー
- 47-2 計器ガラス
- 47-3 ダッシュボードフレーム
- 47-4 ダッシュボードトリム
- 47-5 ビス2.3×4 mm(MP01)×3
- 47-6 シェルビーロゴベース
- 47-7 ビス1.8×4 mm(MP05)×2

パーツ取扱いの注意

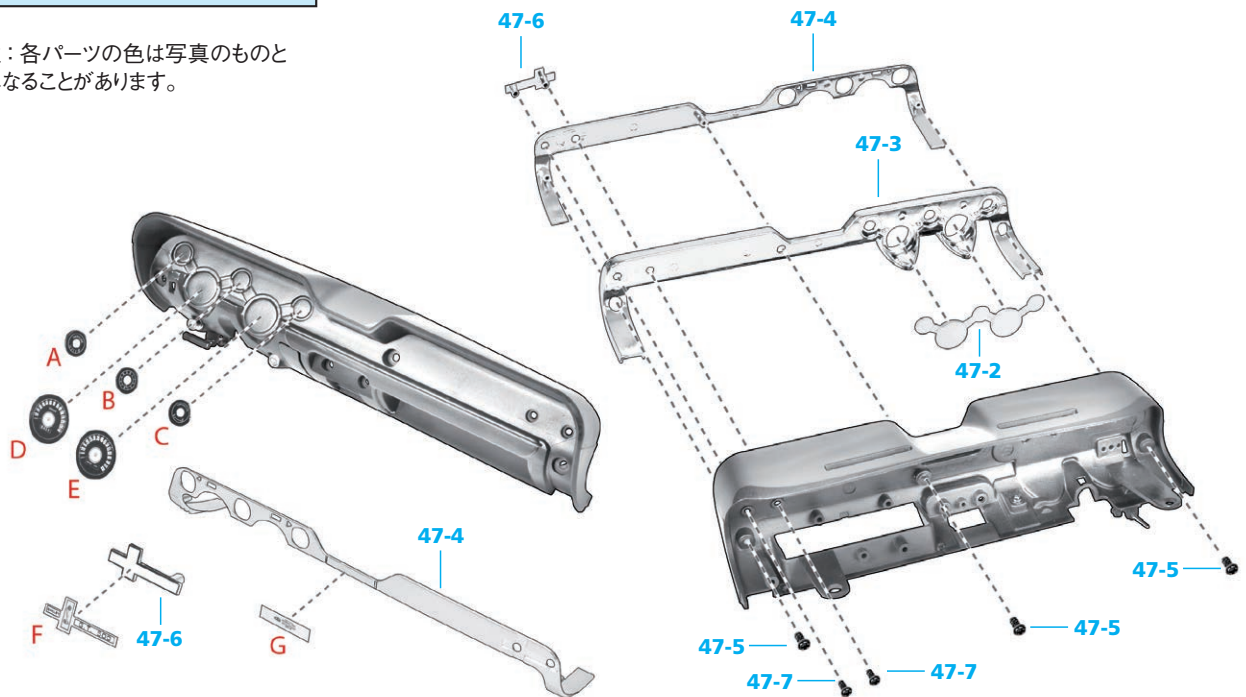
それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

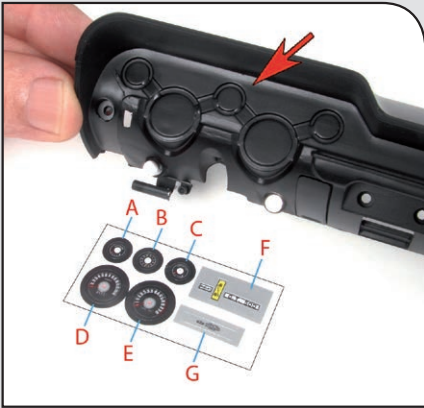
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

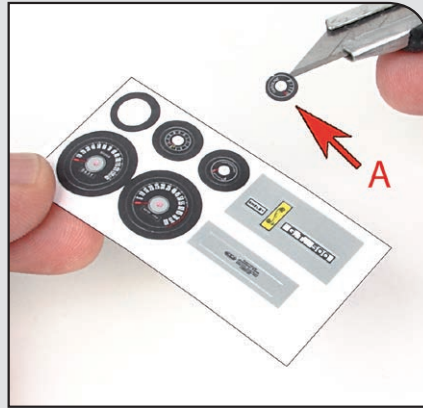
注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。





Step 47-A

ステッカー(47-1)は、どれがどれか分かりやすくするように上の写真でA~Gの記号を振ってあります。



Step 47-B

シートからステッカーをはがすには、カッターの先端を使用します。



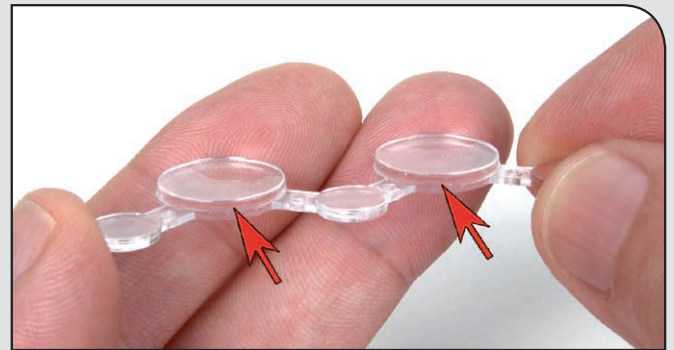
Step 47-C

ダッシュボードの写真に示された円形部の上にステッカー A を置きます。ステッカーの位置が決まったら、ダッシュボードに対して平らに押しつけて圧着します。



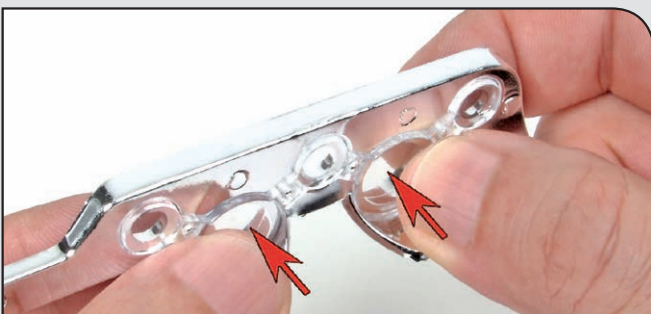
Step 47-D

同様にB、C、Dのステッカーを上写真のように貼り付けていきます。



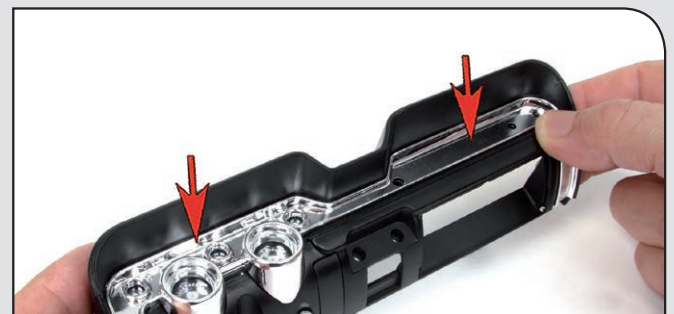
Step 47-E

次に計器ガラス(47-2)を取り出します。2つの大きい円形部が他の円形部よりも厚いことを確認してください。



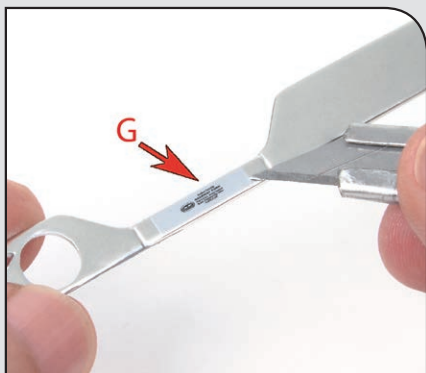
Step 47-F

写真のように、計器ガラスをダッシュボードフレーム(47-3)の背面に合わせます。



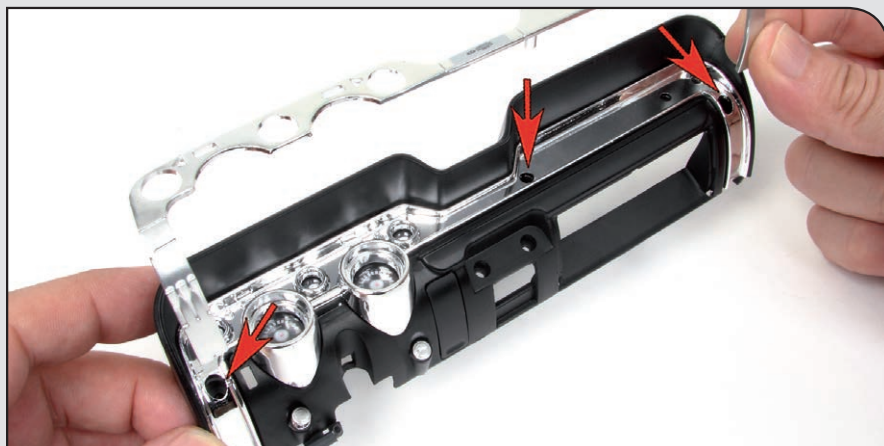
Step 47-G

フレームをダッシュボードにはめ込みます。計器ガラスは2つのパーツの間に挟まれるようにします。



Step 47-H

ダッシュボードトリム(47-4)の中央にステッカーGを貼ります。



Step 47-I

ダッシュボードトリムをダッシュボードフレームのくぼみに下ろし、3本の突起部を矢印で示された穴に挿入します。

Step 47-J

計器ガラス、ダッシュボードフレームおよびトリムを固定するために、ダッシュボードの裏側にある3つの矢印で示された穴のそれぞれをMP01のビス(47-5)で締めます。



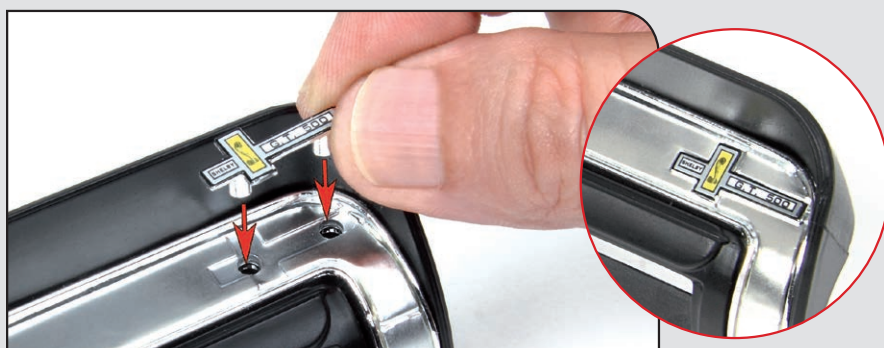
Step 47-K

シェルビーロゴベース(47から6)にステッカーFを貼ります。



Step 47-L

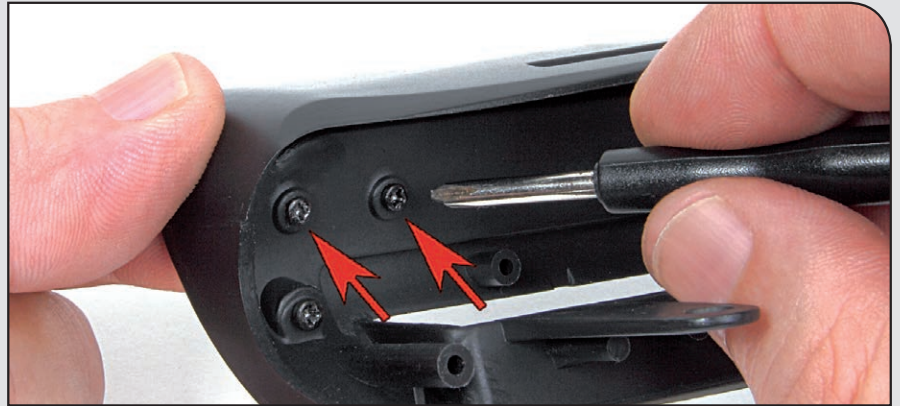
ロゴベースの背面にあるピンをダッシュボードトリムの対応する穴に合わせ、を所定ロゴベースの位置に押し込みます。





Step 47-M

ロゴベースを所定の位置に保持しながら、MP05のビス(47-7)で2つの矢印で示された穴のそれぞれを締めて固定します。



Step 47-N

組み立てられたダッシュボードは写真のようになります。



スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



計器、ラジオ、グローブボックスを作る

このステージのパーツ

- 48-1 ラジオ
- 48-2 ビス2.3×4 mm(MP01)×5
- 48-3 ゲージステッカー
- 48-4 ゲージポッドマウント
- 48-5 ゲージガラス
- 48-6 ゲージポッド
- 48-7 ビス1.8×4 mm(MP05)×2
- 48-8 グローブボックス
- 48-9 グローブボックスのふた
- 48-10 ビス2.3×3 mm(MP03)×2

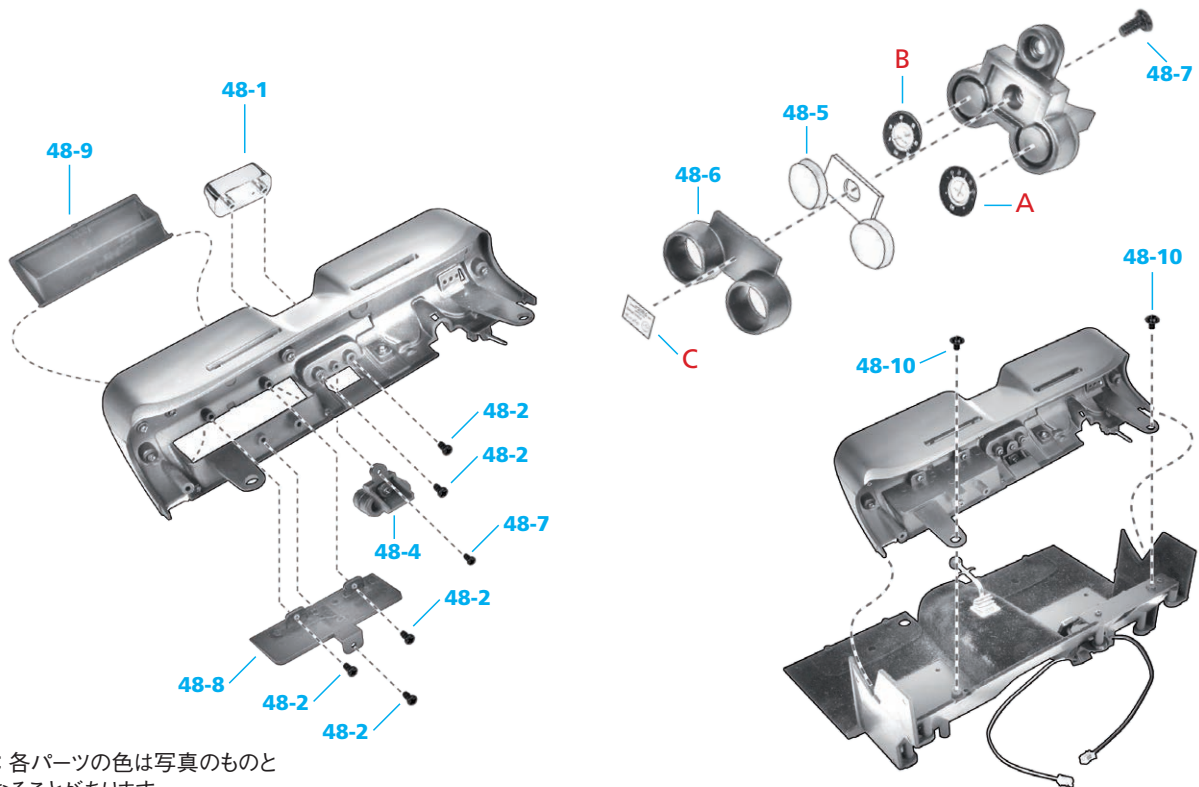
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

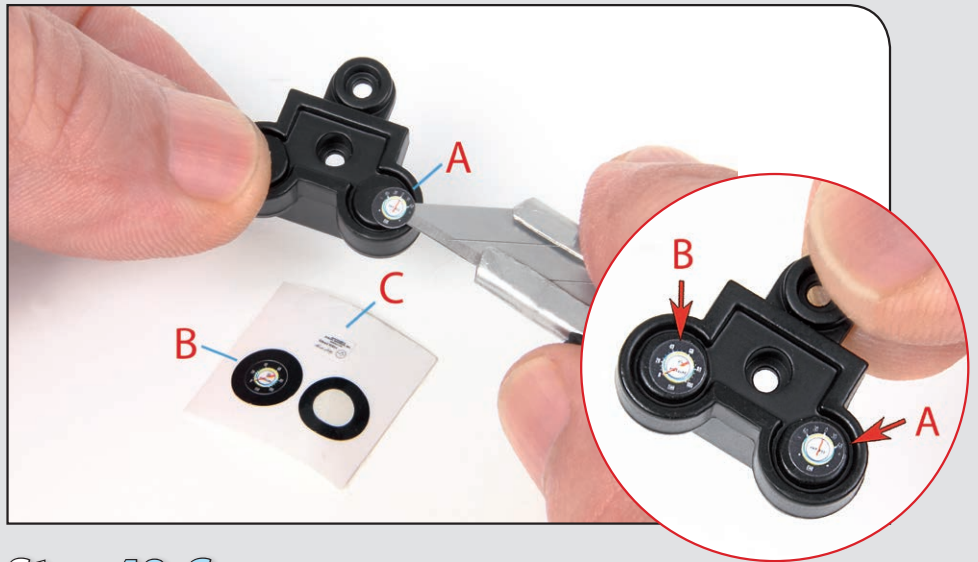


Step 48-A

ラジオ(48-1)の背面にある突起部をダッシュボードの対応する穴に差し込みます。

パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

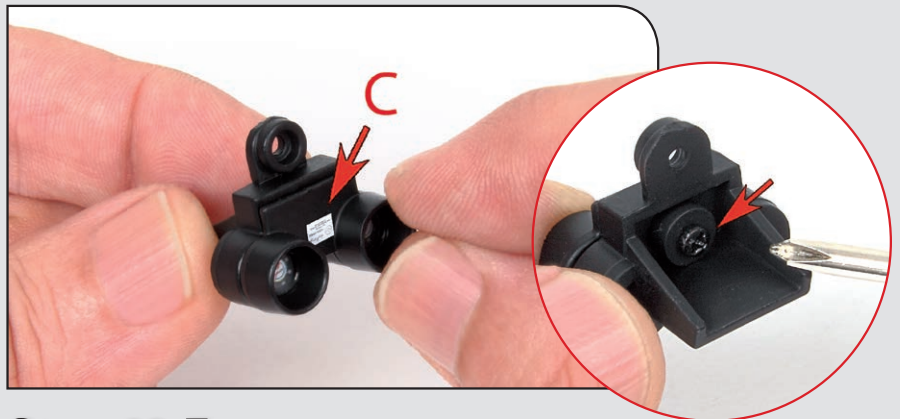


Step 48-B

2本の MP01ビス(48-2)でラジオを固定します。

Step 48-C

シールシート(48-3)からゲージステッカーAとBをはがし、ゲージポッドマウント(48-4)に貼り付けます(挿入写真参照)。



Step 48-D

ゲージガラス(48-5)をステッカーの上のゲージポッドマウントに置きます。

Step 48-E

ゲージポッド(48-6)をゲージポッドマウントの上(ガラスの上)に置き、MP05のビス(48-7)で固定します(挿入写真)。次に、2つのゲージの間にあるゲージポッドにステッカーCを貼ります。



Step 48-F

写真のように、ゲージポッドマウントのタブをラジオの下のダッシュボード裏面の突起部に合わせます。



Step 48-G

ゲージポッドマウントをMP05のビス(48-7)で固定します。



Step 48-H

グローブボックス(48-8)のタブにある3つの穴をダッシュボードの裏側にある矢印で示された突起部に合わせます。

Step 48-I

グローブボックスを3本のMP01ビス(48-2)で固定します。



Step 48-J

グローブボックスの蓋(48-9)の角にある矢印で示された突起部をダッシュボードの矢印で示した穴に挿入します。

Step 48-K

蓋のもう一方の端にある突起部をグローブボックスのもう一方の端にある穴に押し込みます。

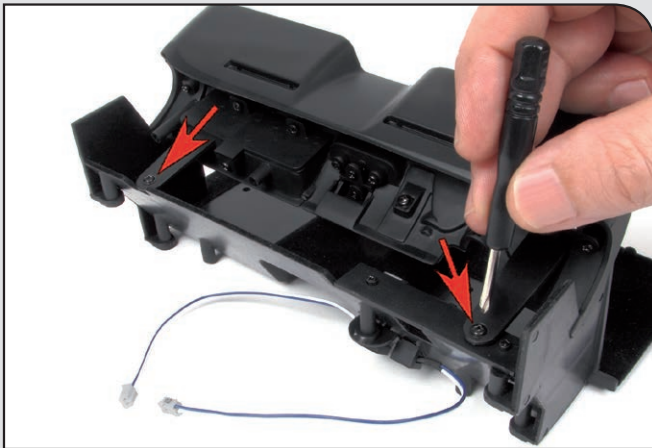
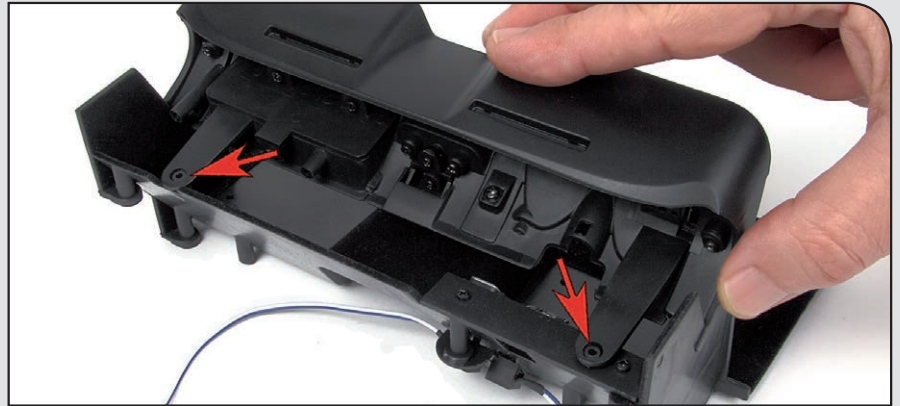
Step 48-L

グローブボックスのふたが正しく開閉することを確認してください。



Step 48-M

矢印で示されているように、ダッシュボードの背面から突き出ているツバの2つの穴を、フロントフロアの2つの突起部に合わせます。

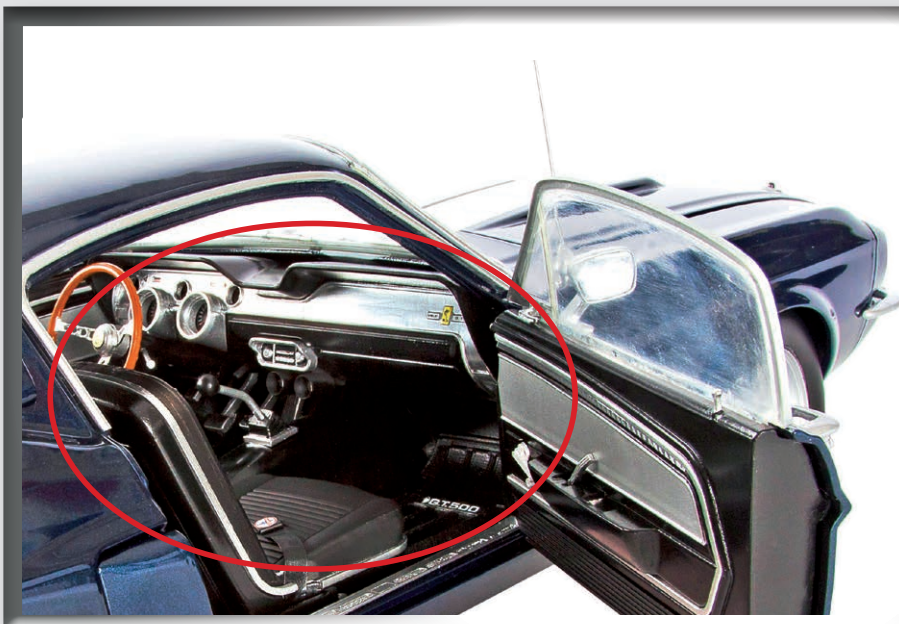


Step 48-N

2本のMP03ビス(48-10)でダッシュボードを床に固定します。

Step 48-O

写真はダッシュボードがフロントフロアに組み込まれた状態です。



STAGE COMPLETE



後部座席フロアと前部座席のシートベルトを作る

このステージのパーツ

- 49-1 後部フロア
- 49-2 助手席用シートベルト固定具
- 49-3 運転席用シートベルト固定具
- 49-4 ビス2.3×4 mm(MP01)×6
- 49-5 シートベルト

パーツ取扱いの注意

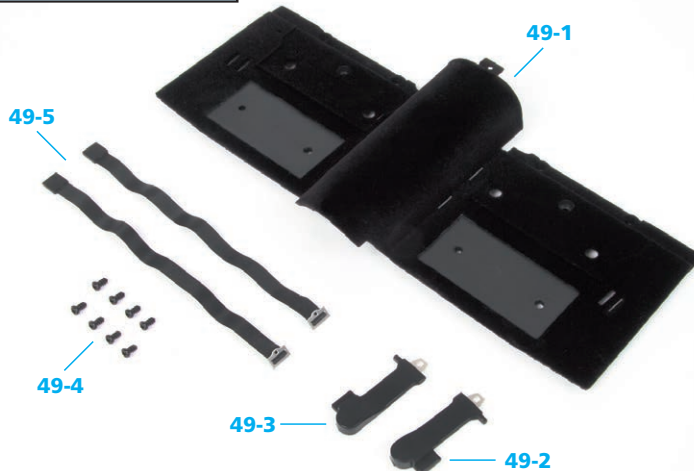
それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

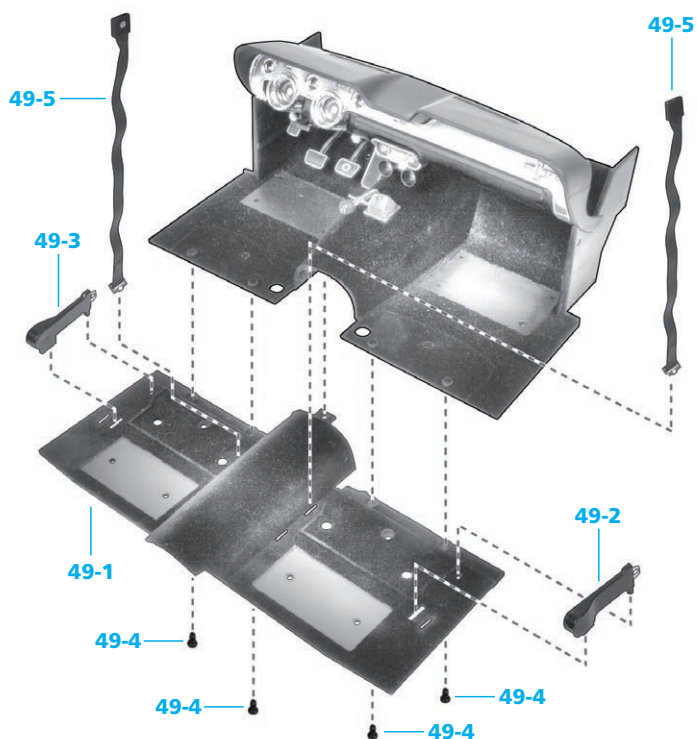
注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。

このステージのパーツ



※写真では左右シート座下の色がグレーになっていますが、実物のパーツでは全体に黒の植毛がされています。

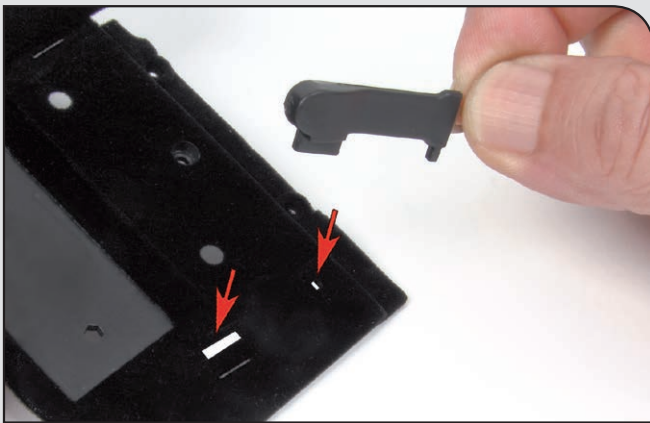
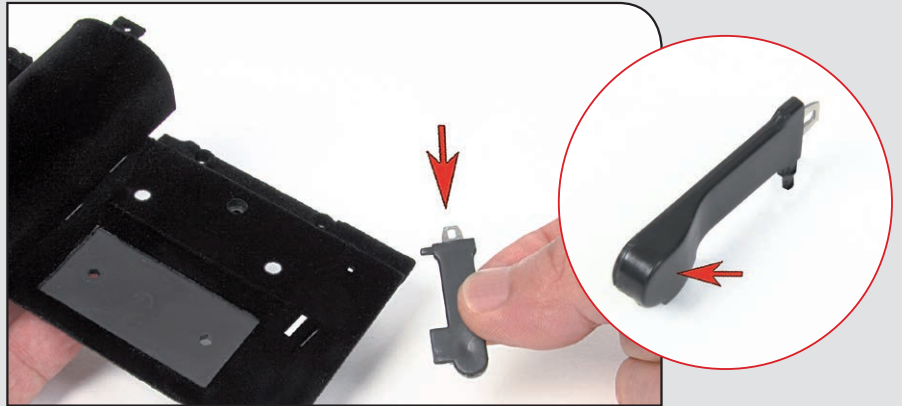
組み立てレイアウト図





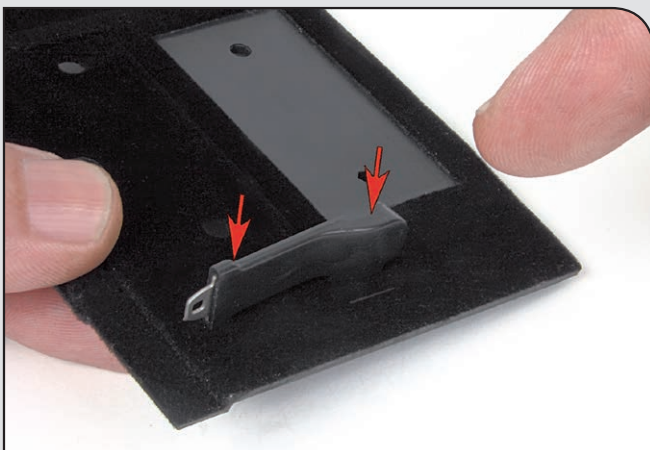
Step 49-A

後部フロア(49-1)と助手席シートベルト固定具(49-2)を準備します。固定具が定位置にあるときは、挿入写真の矢印に示された固定具後部が外側を向いているはずですが。



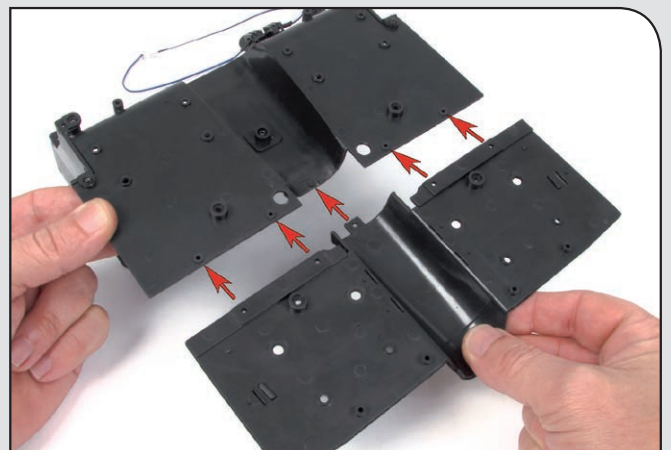
Step 49-B

固定具の下部にある突起部とツバを、後部フロアの対応する穴に合わせます。



Step 49-C

写真のように固定具を押し込みます。
※固定具が奥まで押し込めない場合には、49-Bフロアの穴に付着している黒の植毛を取り除いて下さい。

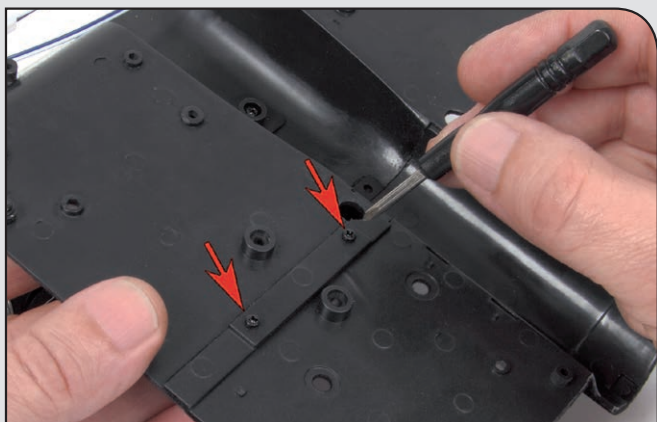


Step 49-D

運転席シートベルト固定具(49-3)をフロアの左側の穴にはめ込むには、ステップAからCを同様に繰り返します。

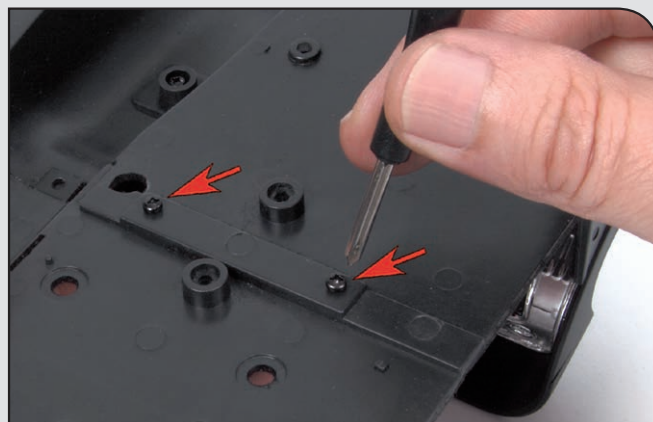
Step 49-E

後部フロアの穴を、前に組み立てたフロントフロアの対応する穴に合わせます。



Step 49-F

2本のMP01ビス(49-4)でフロアの片側にある2つの穴を仮締めします。

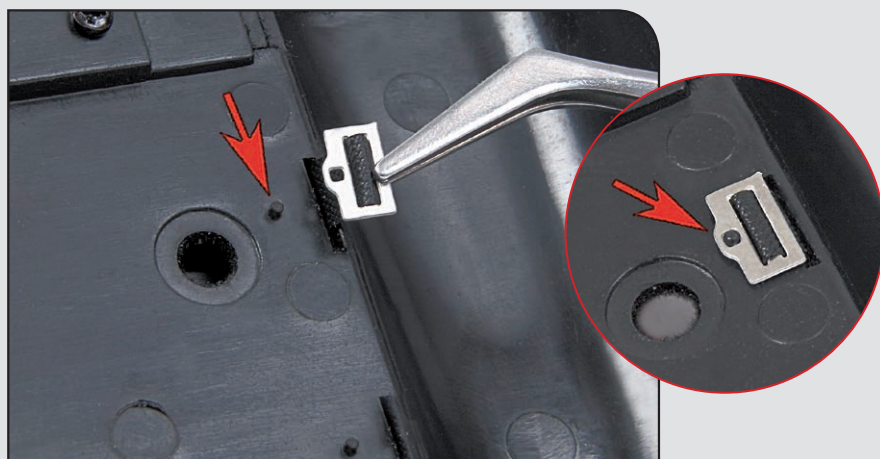


Step 49-G

次にもう2本のビスでフロアの反対側の穴を仮締めします。その後4本のビスをすべて完全に締めます。

Step 49-H

写真のようにシートベルト(49-5)の1つを、バックルのCobraバッジを上に向けて差し込みます(挿入写真参照)。次に、ベルトの金属部の端を持って後部フロアの矢印で示した細長い穴に入れます。



Step 49-I

金属部の端を細長い穴に通し、挿入写真の通り金属部の穴を後部フロアの矢印で示された突起部に差し込みます。



Step 49-J

Cobraバッジを上向きにしてもう一方のシートベルト(49-5)を取り出し、矢印で示すように、金属部の端を後部フロアの反対側の細長い穴に挿入します。



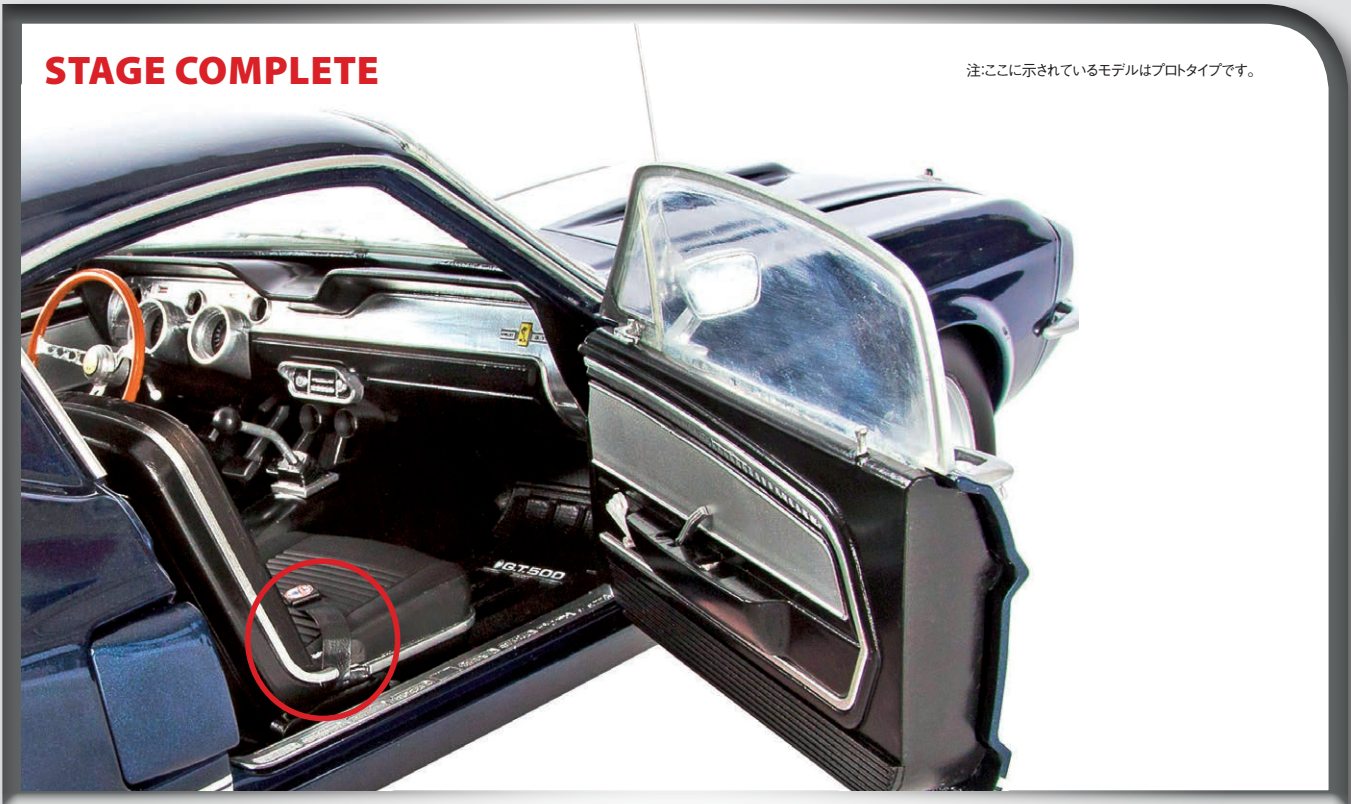
Step 49-K

金属部の端の穴をフロアの突起部に押し込んで固定します。



Step 49-L

写真はここで組み立てたキャビン内部の状態です。



STAGE COMPLETE

注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。